

西脇市
団体アンケート調査
調査結果報告書

平成31年2月

西 脇 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	民生委員児童委員	2
	(1) 日ごろの活動・業務について	2
	(2) 地域の生活課題について	8
	(3) 今後の活動・業務などについて	10
	(4) 市の地域福祉について	11
2	ボランティア団体	12
	(1) 日ごろの活動・業務について	12
	(2) 地域の生活課題について	18
	(3) 今後の活動・業務などについて	20
	(4) 市の地域福祉について	21
3	地域活動団体	22
	(1) 日ごろの活動・業務について	22
	(2) 地域の生活課題について	28
	(3) 今後の活動・業務などについて	30
	(4) 市の地域福祉について	31

I 調査の概要

1 調査の目的

「西脇市地域福祉計画」の策定にあたり、地域で活動をされている団体に、地域での活動を通じて、日頃感じている地域福祉に関する課題や他団体等との連携の状況を把握し、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

西脇市内の民生委員児童委員、ボランティア団体、地域活動団体

3 調査期間

平成 30 年 11 月から平成 30 年 12 月

4 調査方法

直接配布・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
民生委員児童委員	9 通	9 通	100.0%
ボランティア団体	35 通	16 通	45.7%
地域活動団体	11 通	11 通	100.0%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

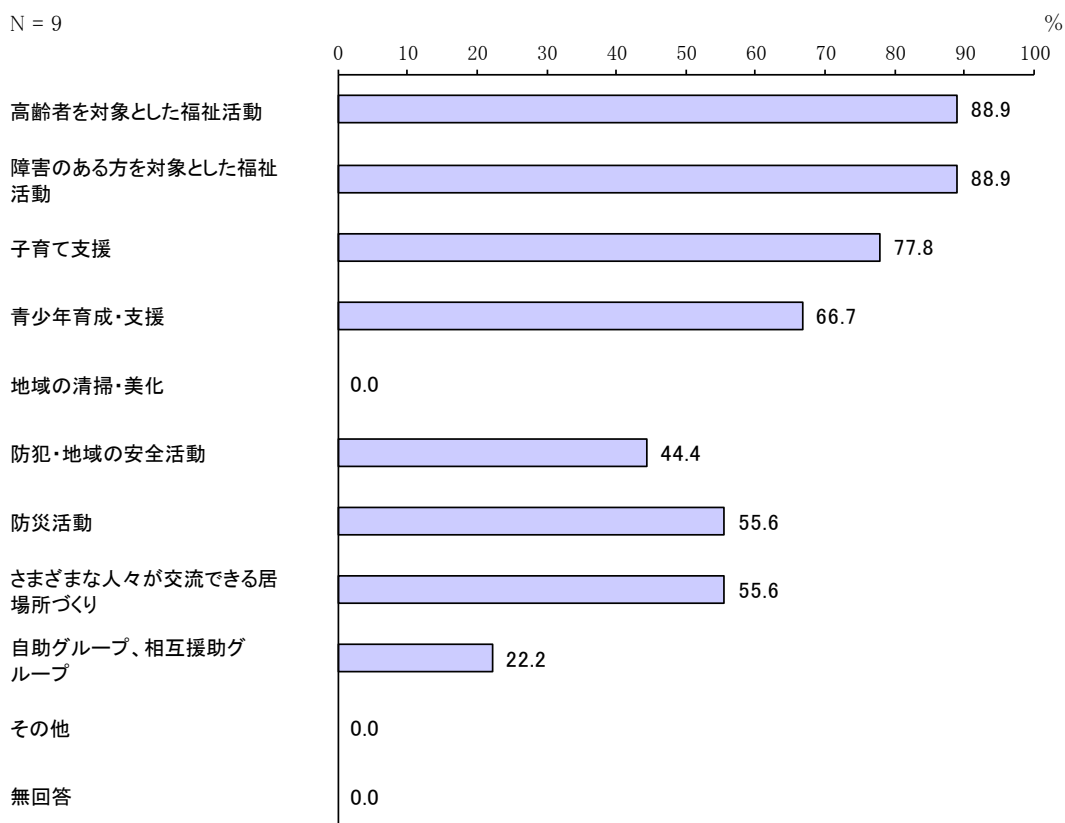
Ⅱ 調査結果

1 民生委員児童委員

(1) 日ごろの活動・業務について

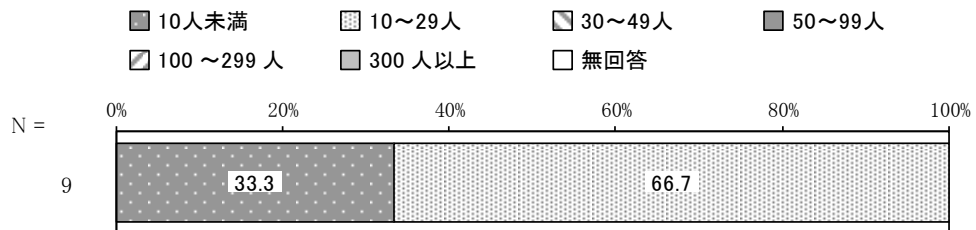
問1 貴団体は、どのような活動を行っていますか。(あてはまるすべてに○)

「高齢者を対象とした福祉活動」、「障害のある方を対象とした福祉活動」が8件、「子育て支援」が7件となっています。



問2 日頃活動を行っているメンバーは何人ですか。

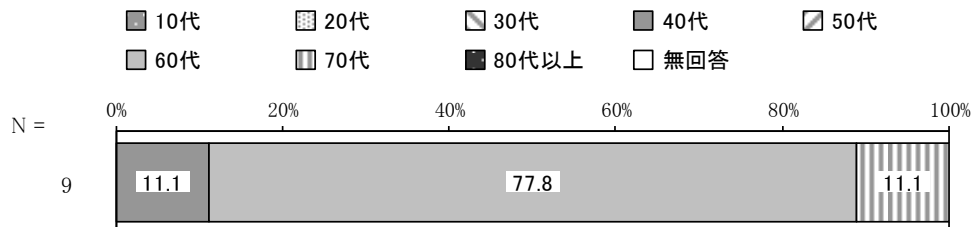
「10～29人」が6件、「10人未満」が3件となっています。



問3 日ごろ活動を行っているメンバーの年齢層は何歳代が中心ですか。「最も多い年代」と「次に多い年代」を次から選び、下の回答欄に数字を記入してください。

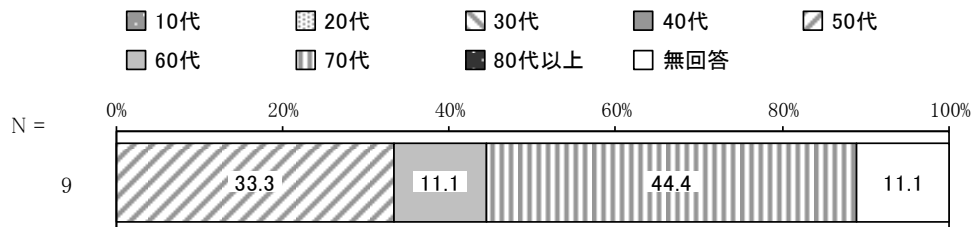
①最も多い年代

「60代」が7件、「40代」、「70代」が1件となっています。



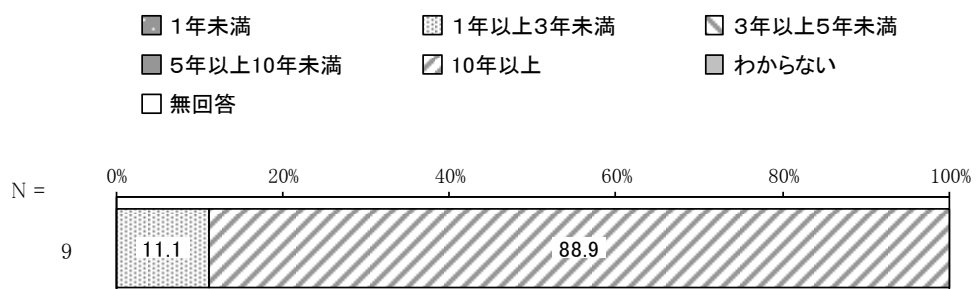
②次に多い年代

「70代」が4件、「50代」が3件、「60代」が1件となっています。



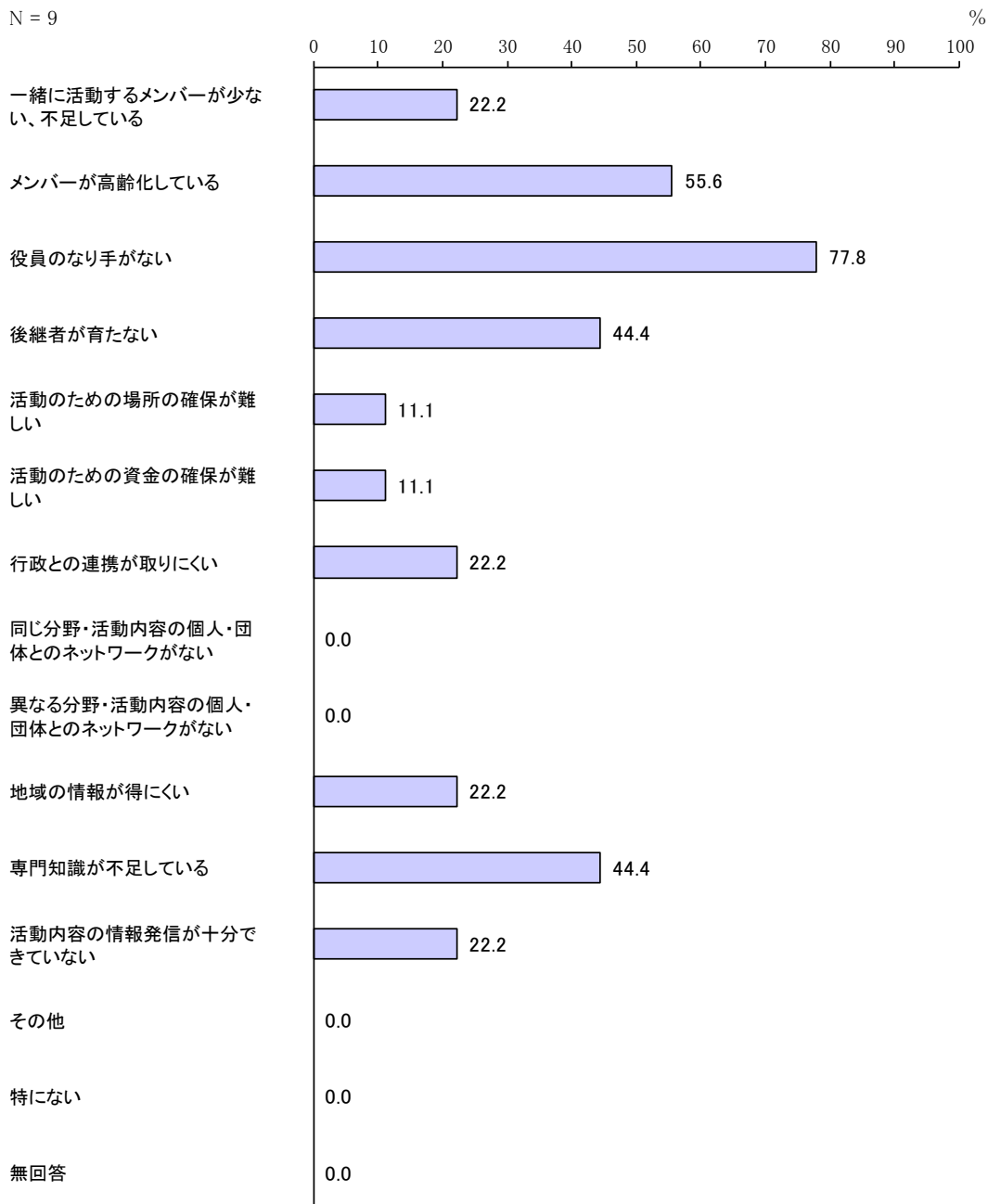
問4 貴団体は、活動を始めてからどれくらいになりますか。通算の年数でお答えください。(1つに〇)

「10年以上」が8件、「1年以上3年未満」が1件となっています。



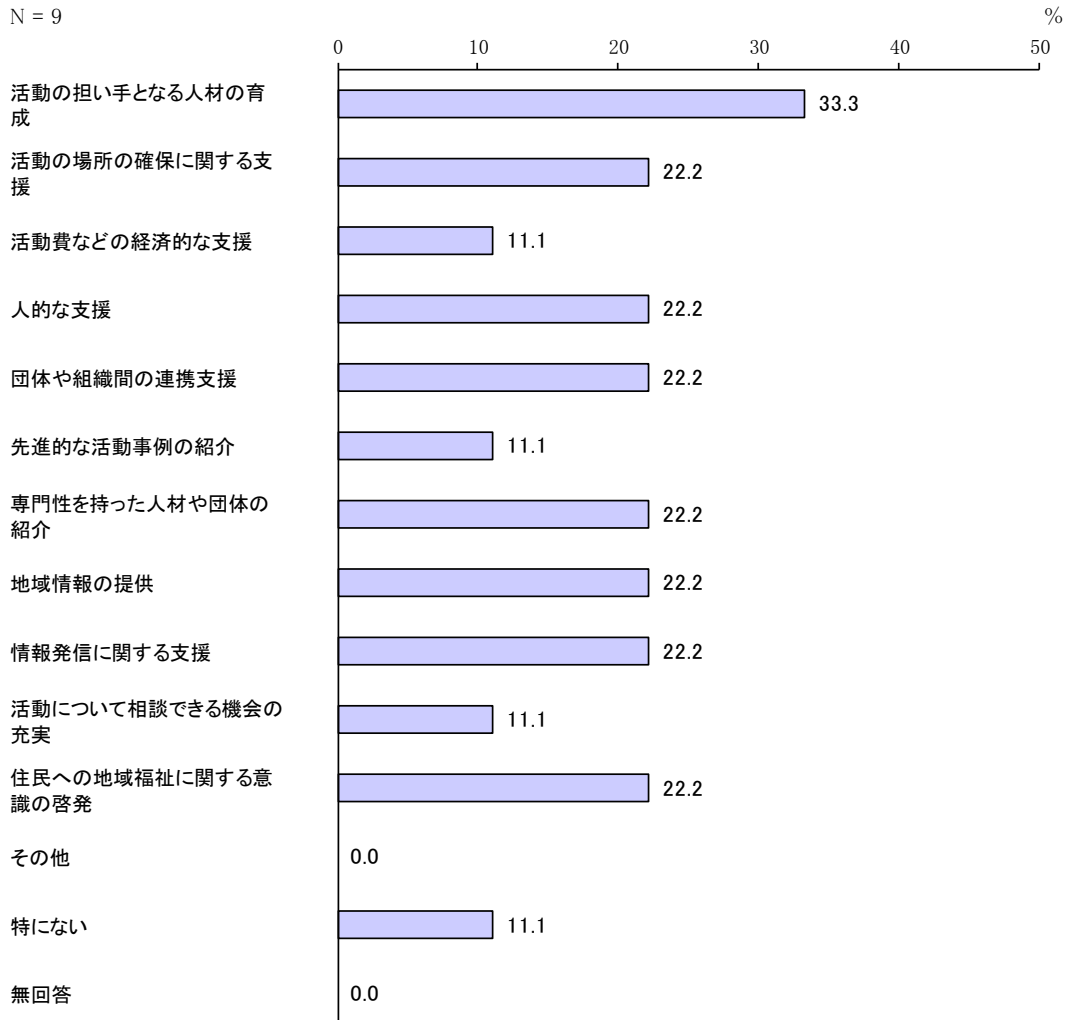
問5 貴団体が、活動を行う上で困っていることは、次のどれですか。
 (あてはまるすべてに○)

「役員のなり手が無い」が7件、「メンバーが高齢化している」が5件、「後継者が育たない」、
 「専門知識が不足している」が4件となっています。



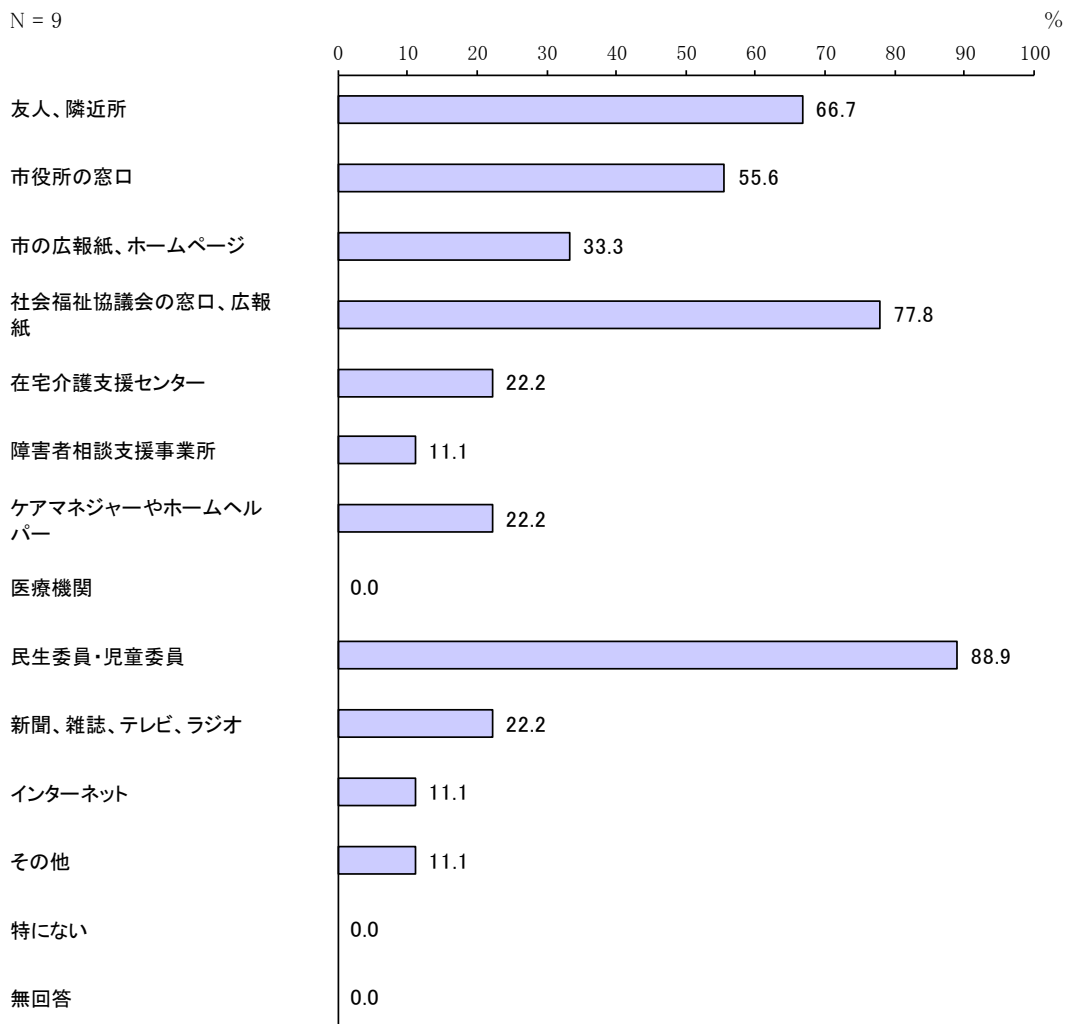
問6 地域活動を行う上で、行政にどのような支援を求めますか。
 (あてはまるものに3つまで○)

「活動の担い手となる人材の育成」が3件、「活動の場所の確保に関する支援」、「人的な支援」、「団体や組織間の連携支援」が2件となっています。



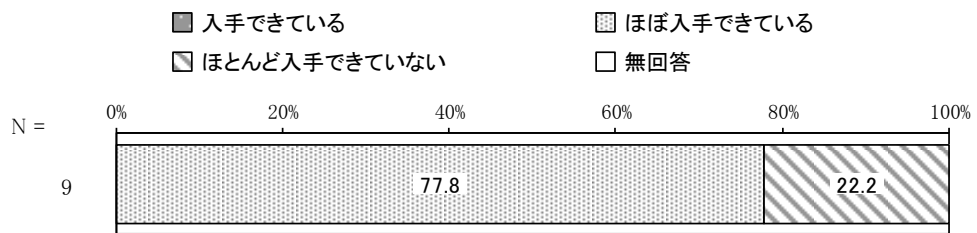
問7 貴団体は、日頃の活動において必要な情報をどこから得ていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「民生委員・児童委員」が8件、「社会福祉協議会の窓口、広報紙」が7件、「友人、隣近所」が6件となっています。



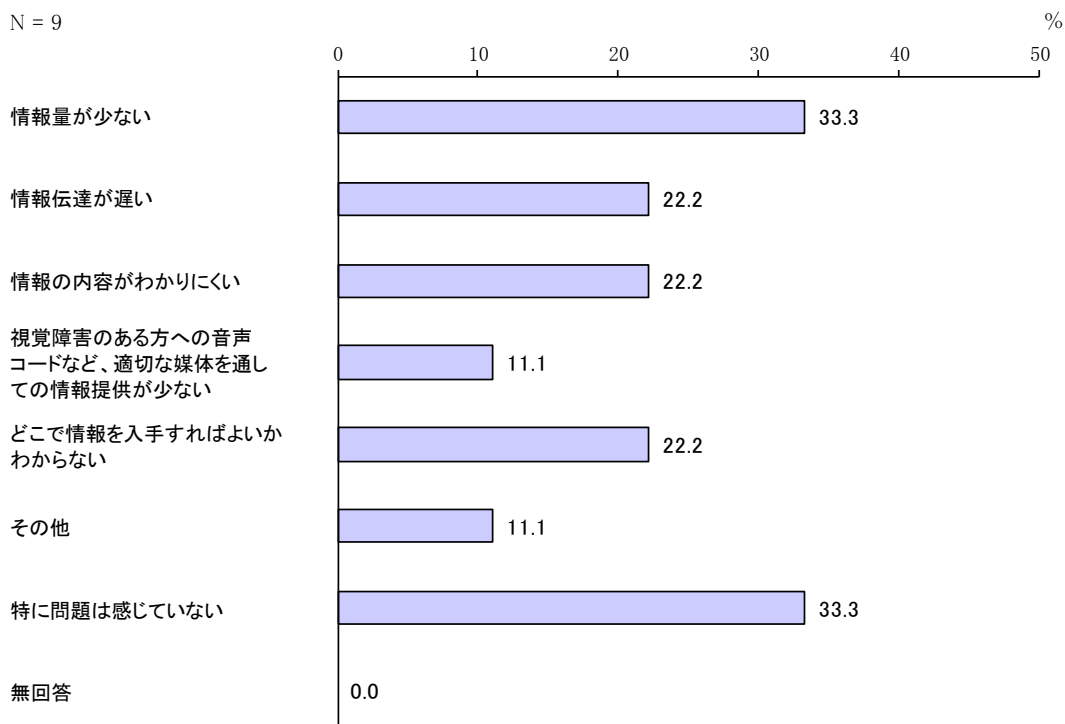
問8 貴団体は、市の子ども、高齢者、障害のある方などの福祉に関する情報を入手できていますか。（1つに○）

「ほぼ入手できている」が7件、「ほとんど入手できていない」が2件となっています。



問9 市からの情報の入手について、どのように感じていますか。（あてはまるすべてに○）

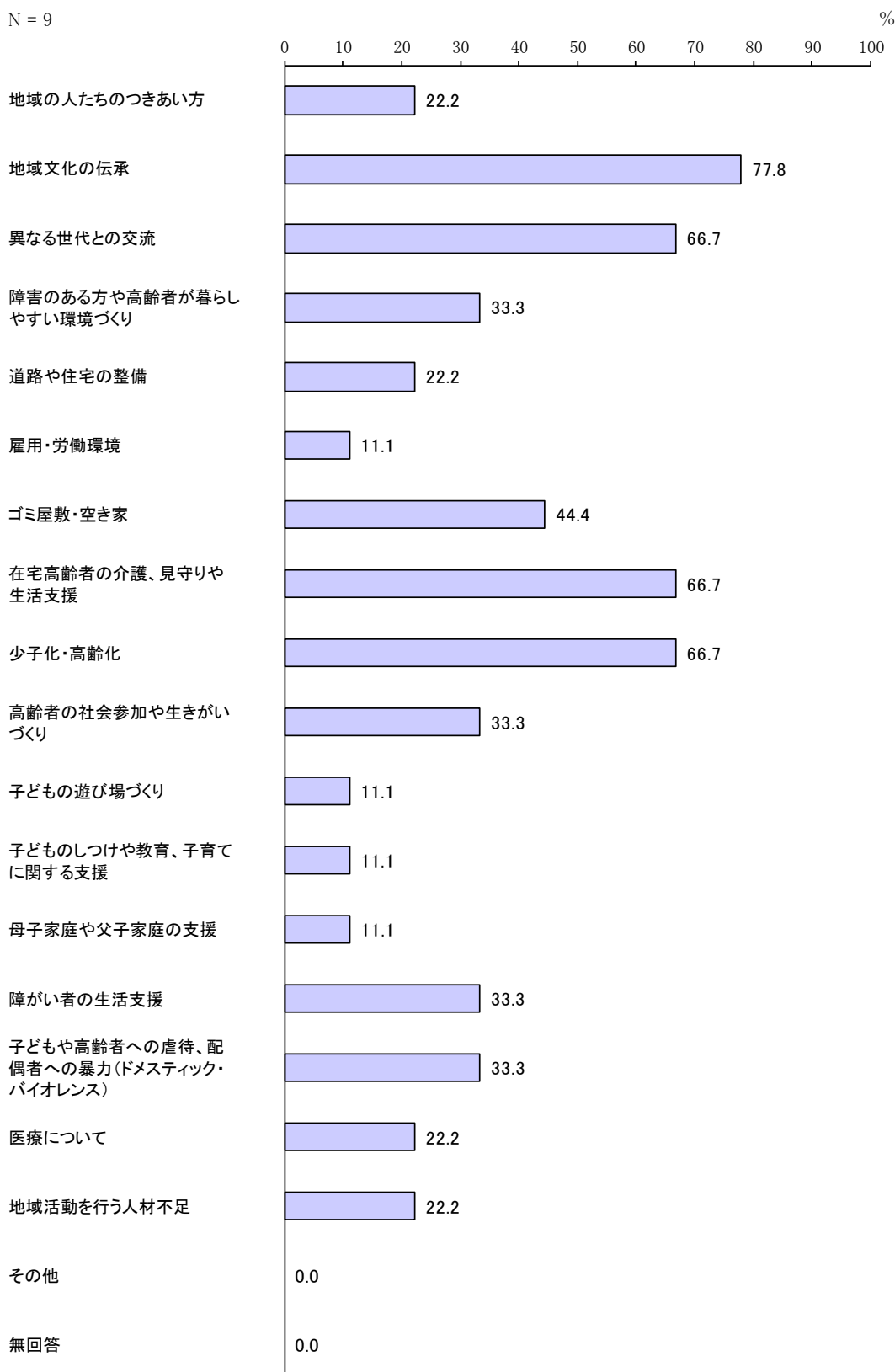
「情報量が少ない」、「特に問題は感じていない」が3件、「情報伝達が遅い」、「情報の内容がわかりにくい」が2件となっています。



(2) 地域の生活課題について

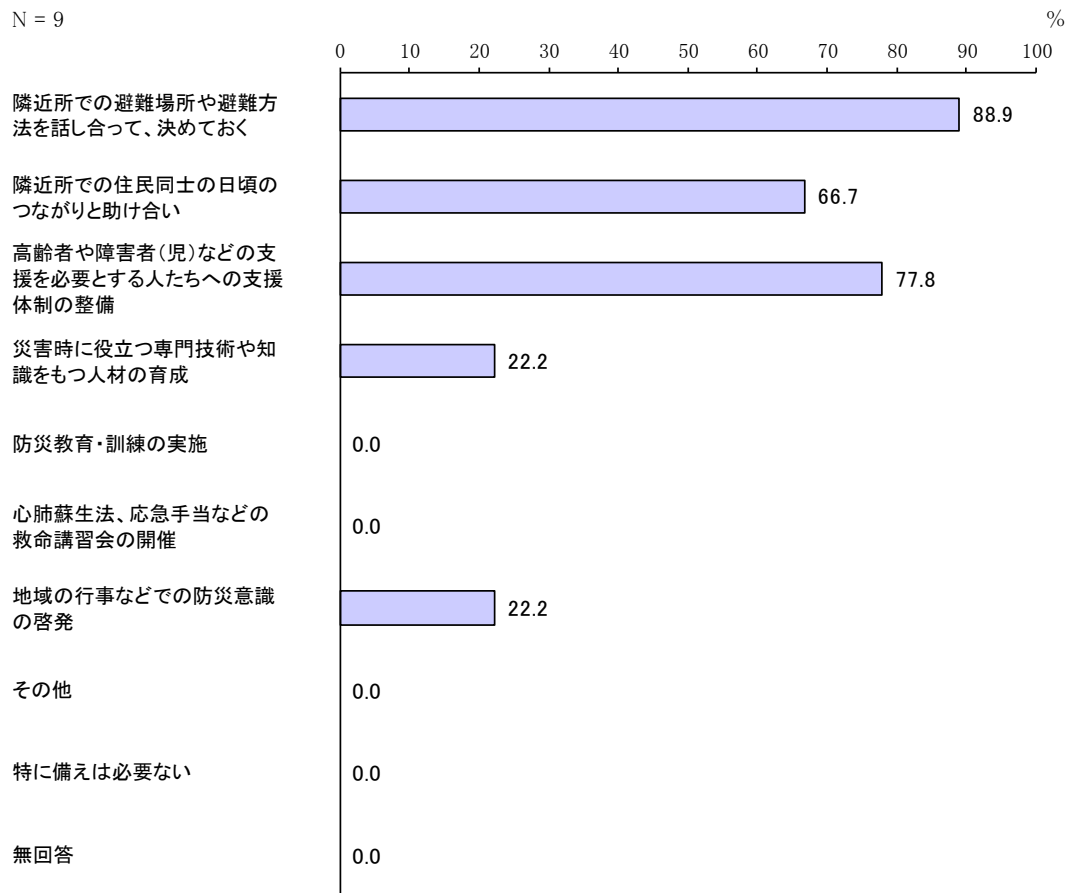
問10 ふだんの活動を通じて感じている地域の課題には、どのようなことがありますか。(あてはまるすべてに○)

「地域文化の伝承」が7件、「異なる世代との交流」、「在宅高齢者の介護、見守りや生活支援」、「少子化・高齢化」が6件となっています。



問 11 大地震などの災害に備えて、地域でどのような備えが必要だと思いますか。（防災用品の備えを除く。）（あてはまるもの3つまでに○）

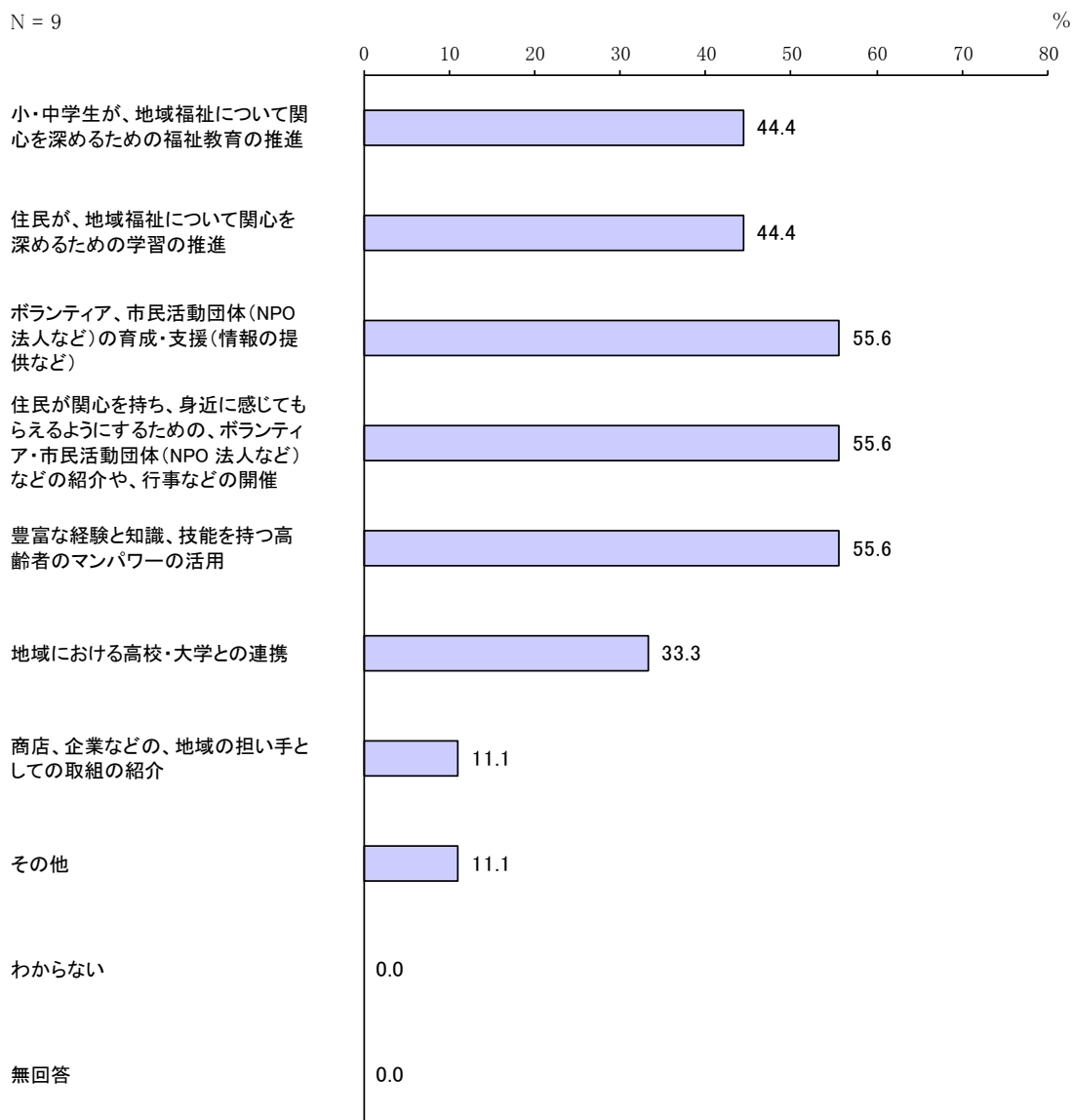
「隣近所での避難場所や避難方法を話し合っ、決めておく」が8件、「高齢者や障害者（児）などの支援を必要とする人たちへの支援体制の整備」が7件、「隣近所での住民同士の日頃のつながりと助け合い」が6件となっています。



(3) 今後の活動・業務などについて

問12 地域課題に取り組むための地域の担い手を増やすには、どのようにしたらよいとお考えですか。(あてはまるすべてに○)

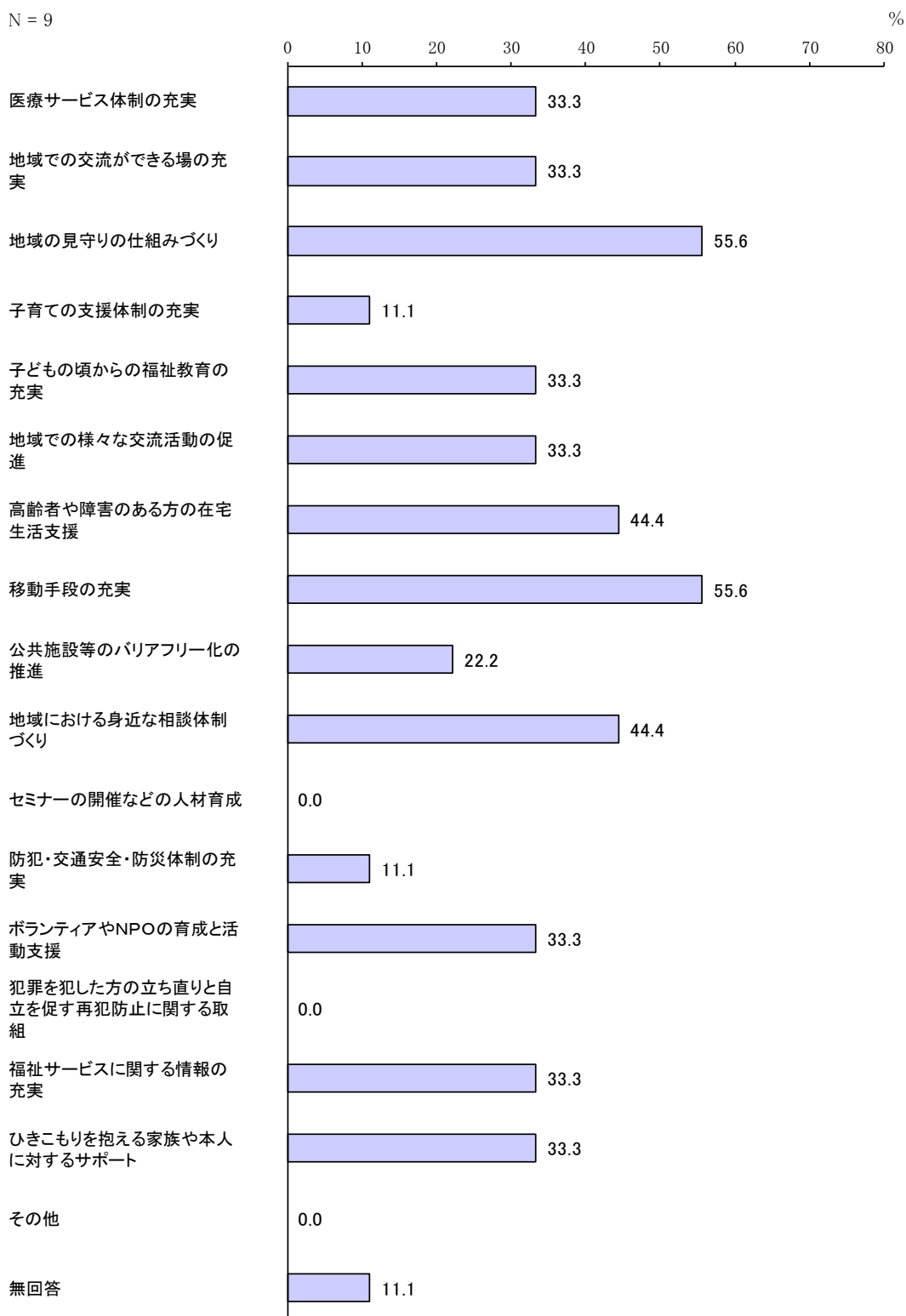
「ボランティア、市民活動団体（NPO 法人など）の育成・支援（情報の提供など）」、「住民が関心を持ち、身近に感じてもらえるようにするための、ボランティア・市民活動団体（NPO 法人など）などの紹介や、行事などの開催」、「豊富な経験と知識、技能を持つ高齢者のマンパワーの活用」が5件と最も高くなっています。



(4) 市の地域福祉について

問 13 今後、地域福祉・施策を進めるために西脇市はどのような施策に取り組んでいくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「地域の見守りの仕組みづくり」、「移動手段の充実」が 5 件、「高齢者や障害のある方の在宅生活支援」、「地域における身近な相談体制づくり」が 4 件となっています。

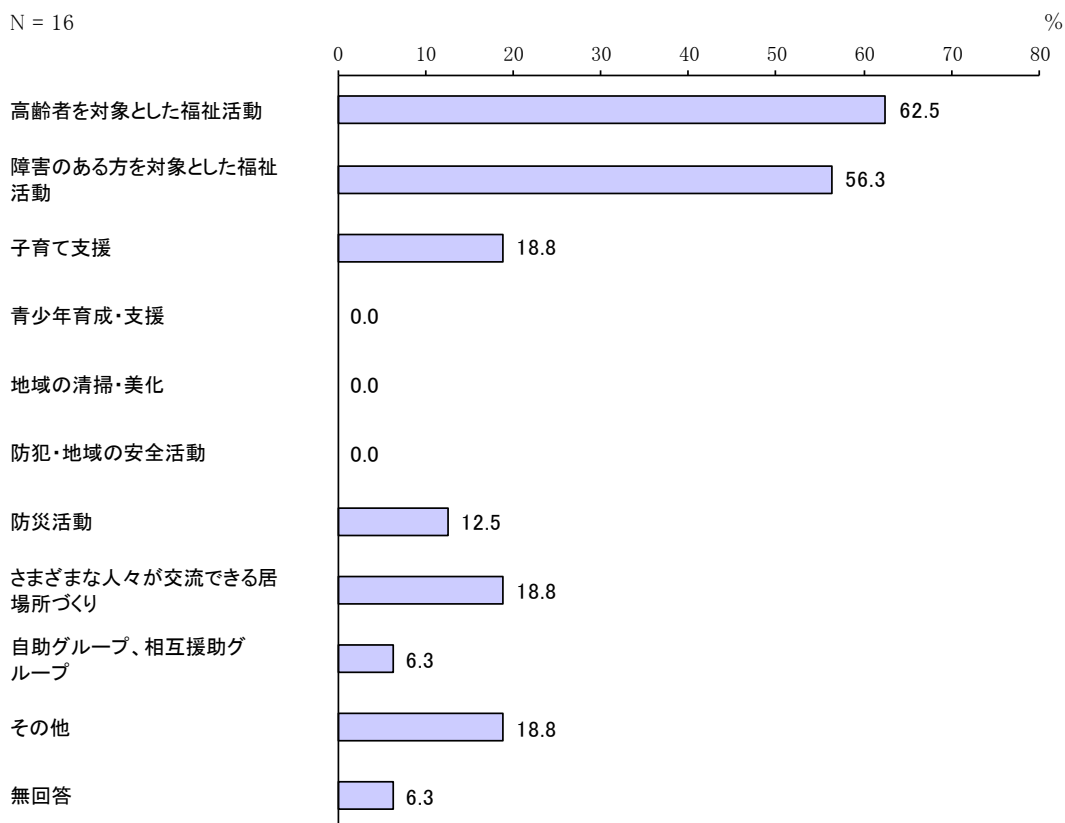


2 ボランティア団体

(1) 日ごろの活動・業務について

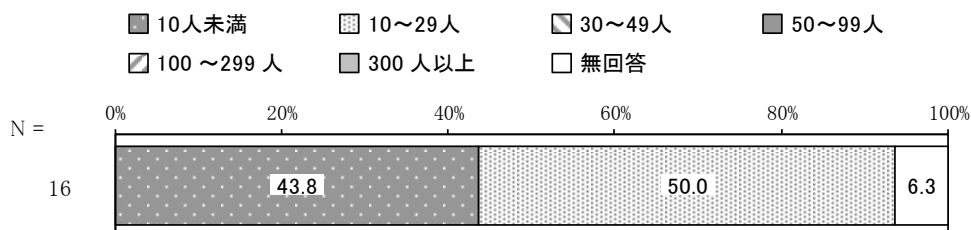
問1 貴団体は、どのような活動を行っていますか。(あてはまるすべてに○)

「高齢者を対象とした福祉活動」の割合が62.5%と最も高く、次いで「障害のある方を対象とした福祉活動」の割合が56.3%、「子育て支援」、「さまざまな人々が交流できる居場所づくり」の割合が18.8%となっています。



問2 日頃活動を行っているメンバーは何人ですか。

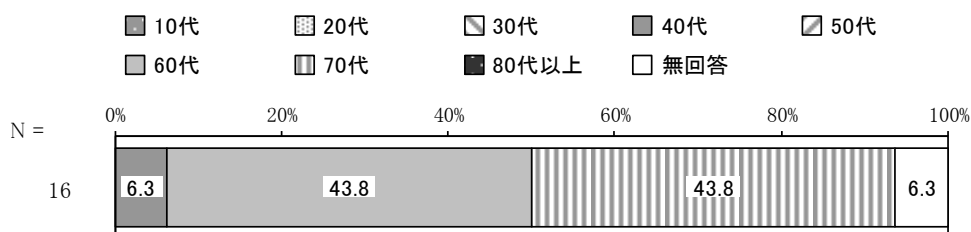
「10～29人」の割合が50.0%と最も高く、次いで「10人未満」の割合が43.8%、「30～49人」、「50～99人」の割合が0.0%となっています。



問3 日ごろ活動を行っているメンバーの年齢層は何歳代が中心ですか。「最も多い年代」と「次に多い年代」を次から選び、下の回答欄に数字を記入してください。

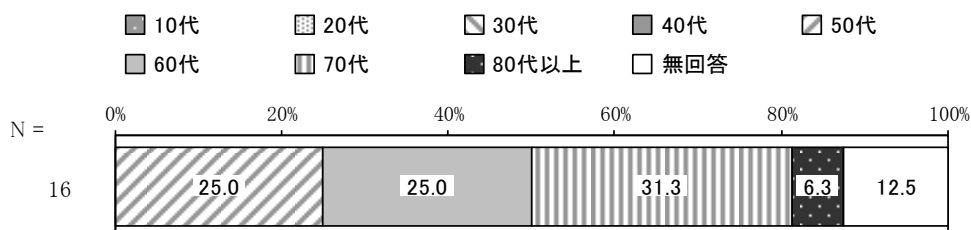
①最も多い年代

「60代」、「70代」の割合が43.8%と最も高く、次いで「40代」の割合が6.3%となっています。



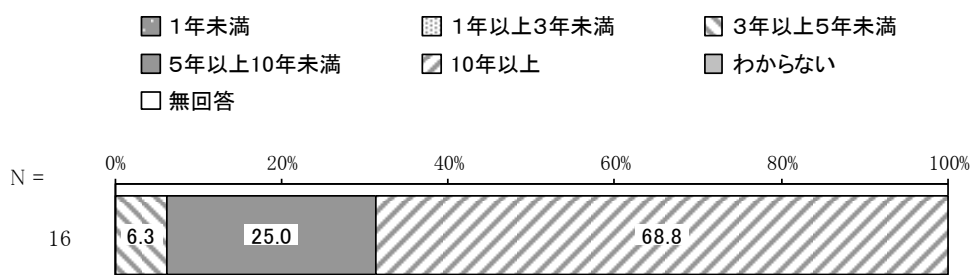
②次に多い年代

「70代」の割合が31.3%と最も高く、次いで「50代」、「60代」の割合が25.0%となっています。



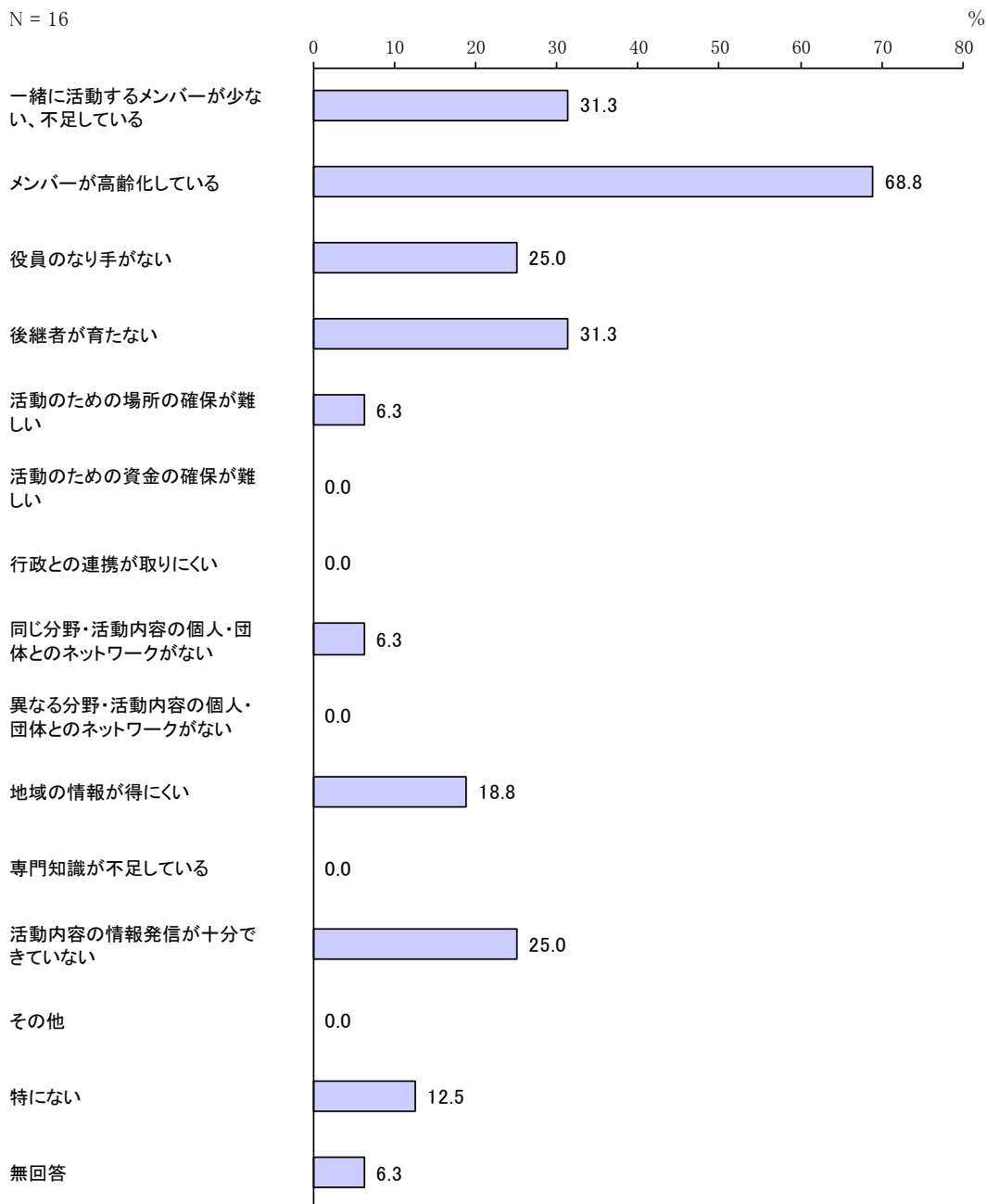
問4 貴団体は、活動を始めてからどれくらいになりますか。通算の年数でお答えください。(1つに〇)

「10年以上」の割合が68.8%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」の割合が25.0%、「3年以上5年未満」の割合が6.3%となっています。



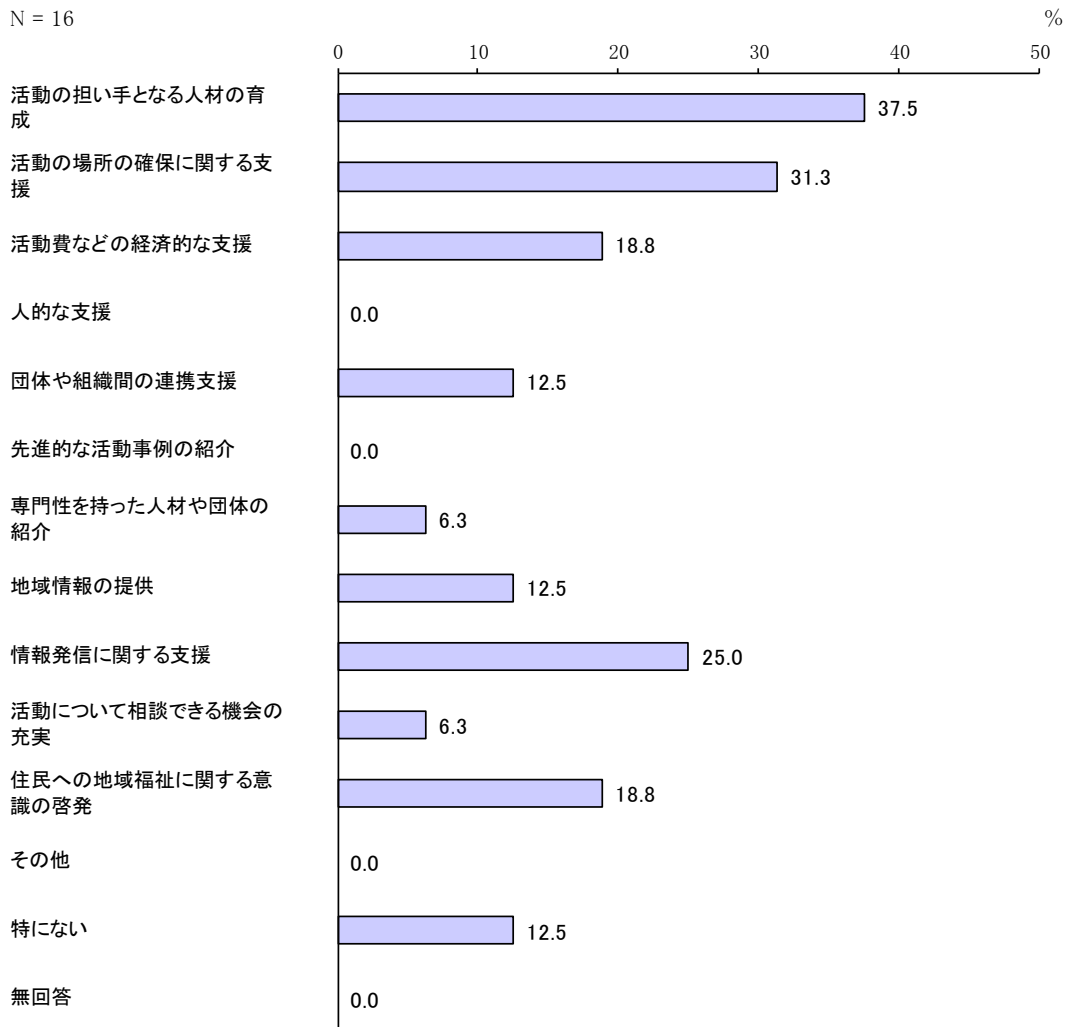
問5 貴団体が、活動を行う上で困っていることは、次のどれですか。
(あてはまるすべてに○)

「メンバーが高齢化している」の割合が68.8%と最も高く、次いで「一緒に活動するメンバーが少ない、不足している」、「後継者が育たない」の割合が31.3%となっています。



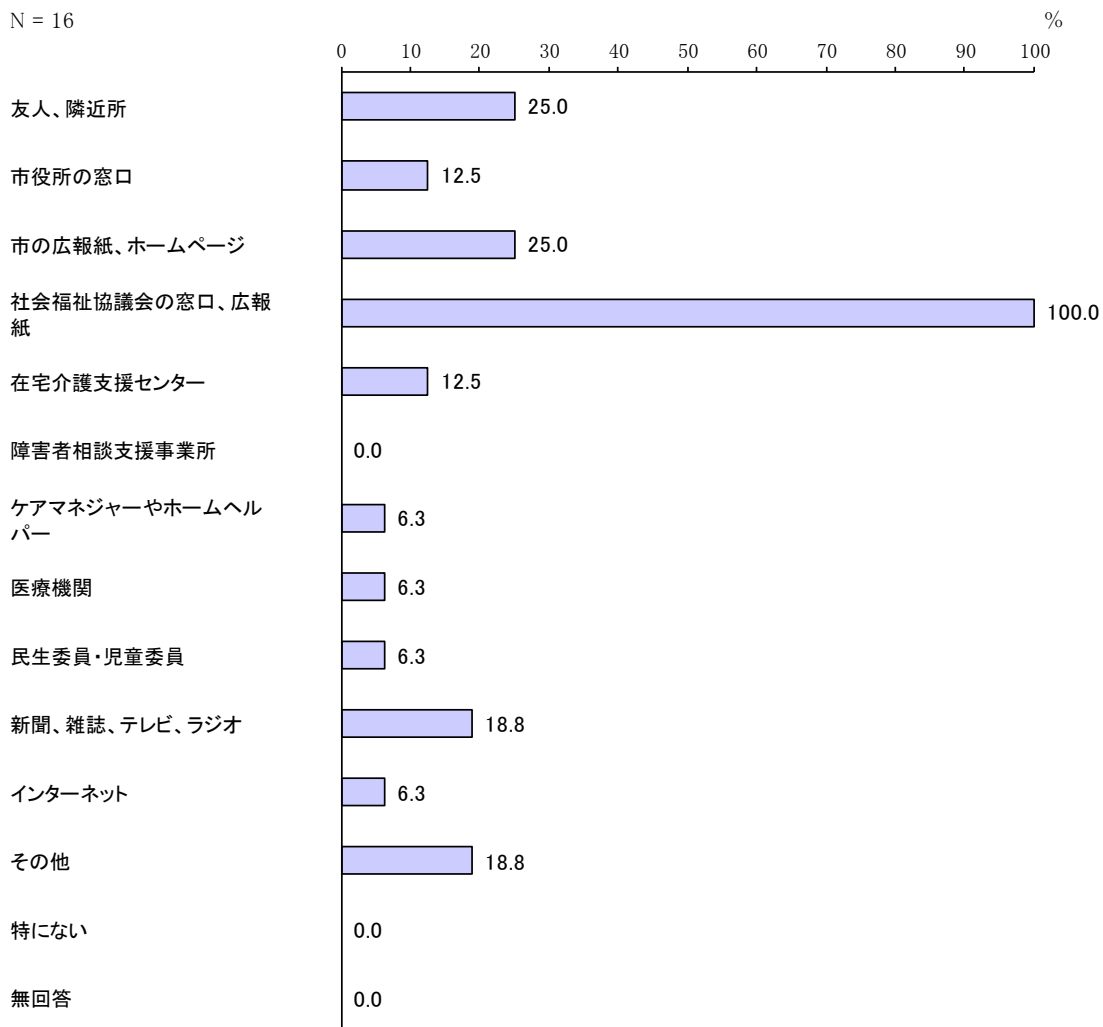
問6 地域活動を行う上で、行政にどのような支援を求めますか。
(あてはまるものに3つまで○)

「活動の担い手となる人材の育成」の割合が37.5%と最も高く、次いで「活動の場所の確保に関する支援」の割合が31.3%、「情報発信に関する支援」の割合が25.0%となっています。



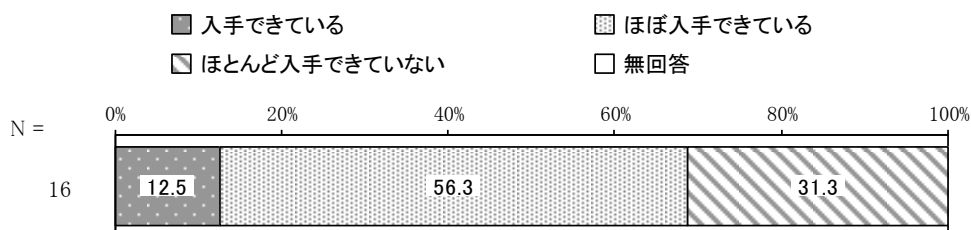
問7 貴団体は、日頃の活動において必要な情報をどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「社会福祉協議会の窓口、広報紙」の割合が100.0%と最も高く、次いで「友人、隣近所」、「市の広報紙、ホームページ」の割合が25.0%となっています。



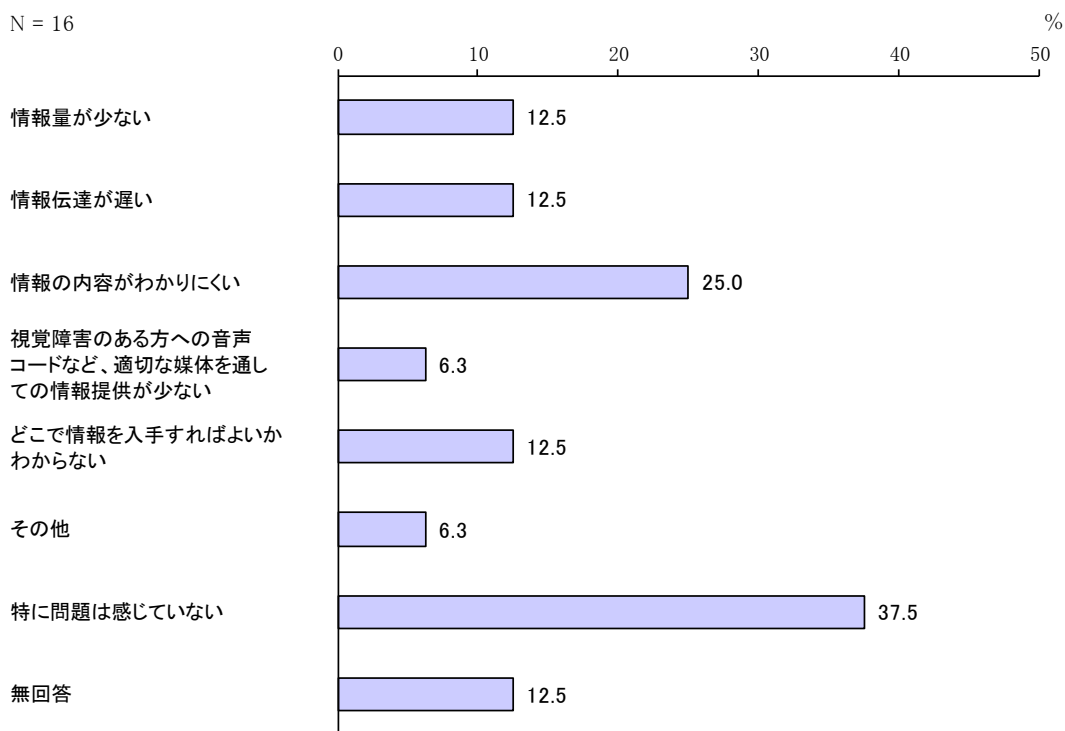
問8 貴団体は、市の子ども、高齢者、障害のある方などの福祉に関する情報を入手できていますか。(1つに○)

「ほぼ入手できている」の割合が56.3%と最も高く、次いで「ほとんど入手できていない」の割合が31.3%、「入手できている」の割合が12.5%となっています。



問9 市からの情報の入手について、どのように感じていますか。(あてはまるすべてに○)

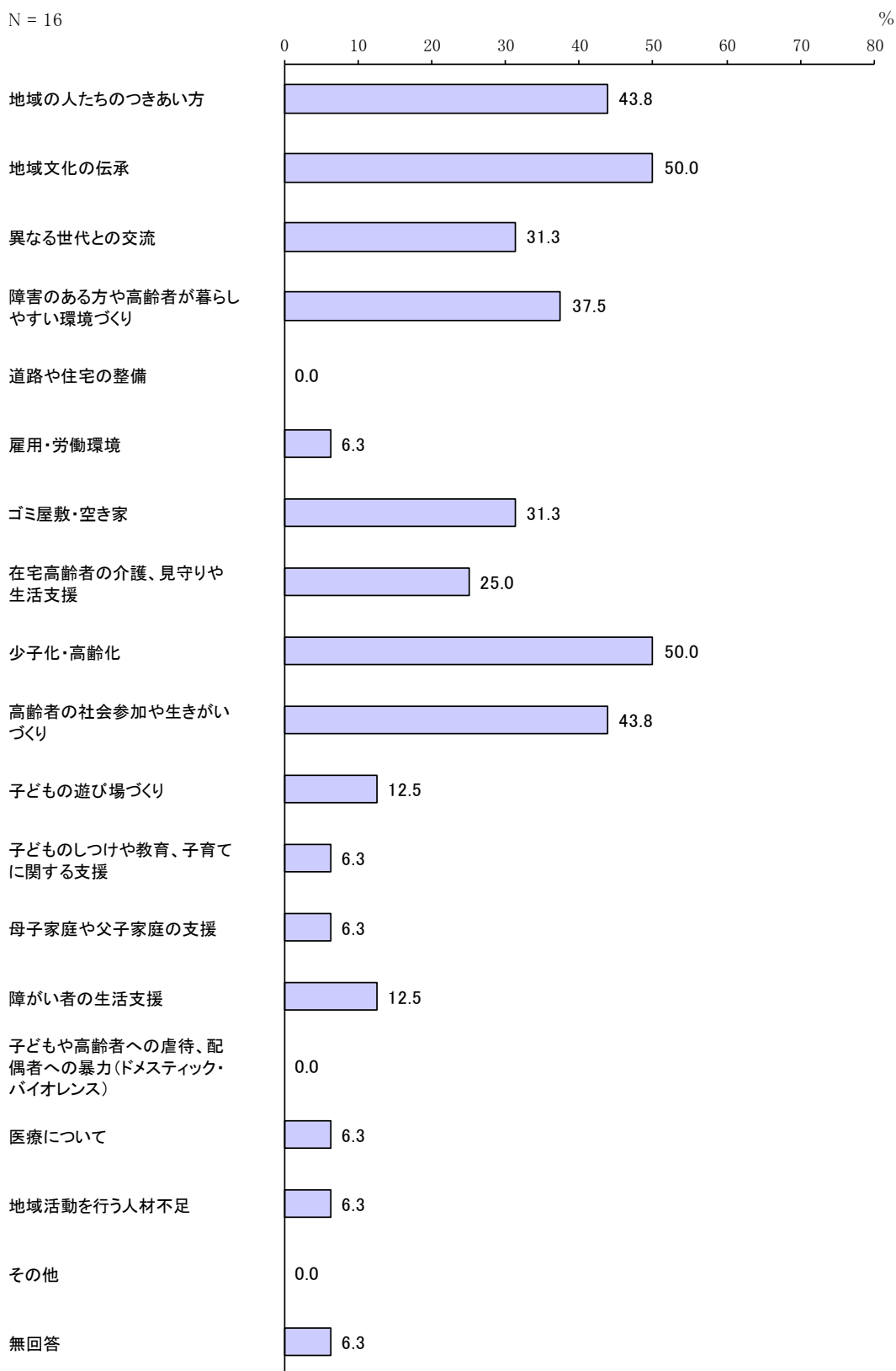
「特に問題は感じていない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「情報の内容がわかりにくい」の割合が25.0%、「情報量が少ない」、「情報伝達が遅い」の割合が12.5%となっています。



(2) 地域の生活課題について

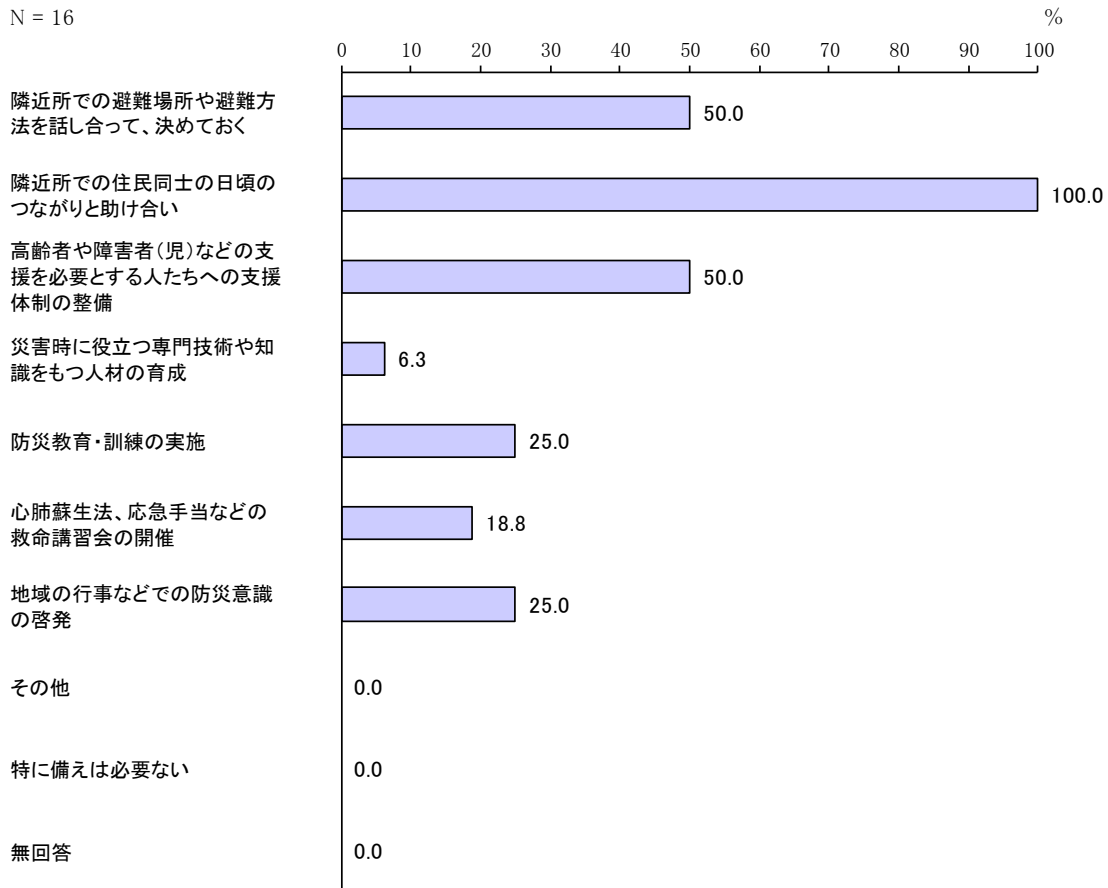
問10 ふだんの活動を通じて感じている地域の課題には、どのようなことがありますか。(あてはまるすべてに○)

「地域文化の伝承」、「少子化・高齢化」の割合が50.0%と最も高く、次いで「地域の人たちのつきあい方」、「高齢者の社会参加や生きがいがづくり」の割合が43.8%となっています。



問 11 大地震などの災害に備えて、地域でどのような備えが必要だと思いますか。(防災用品の備えを除く。)(あてはまるもの3つまでに○)

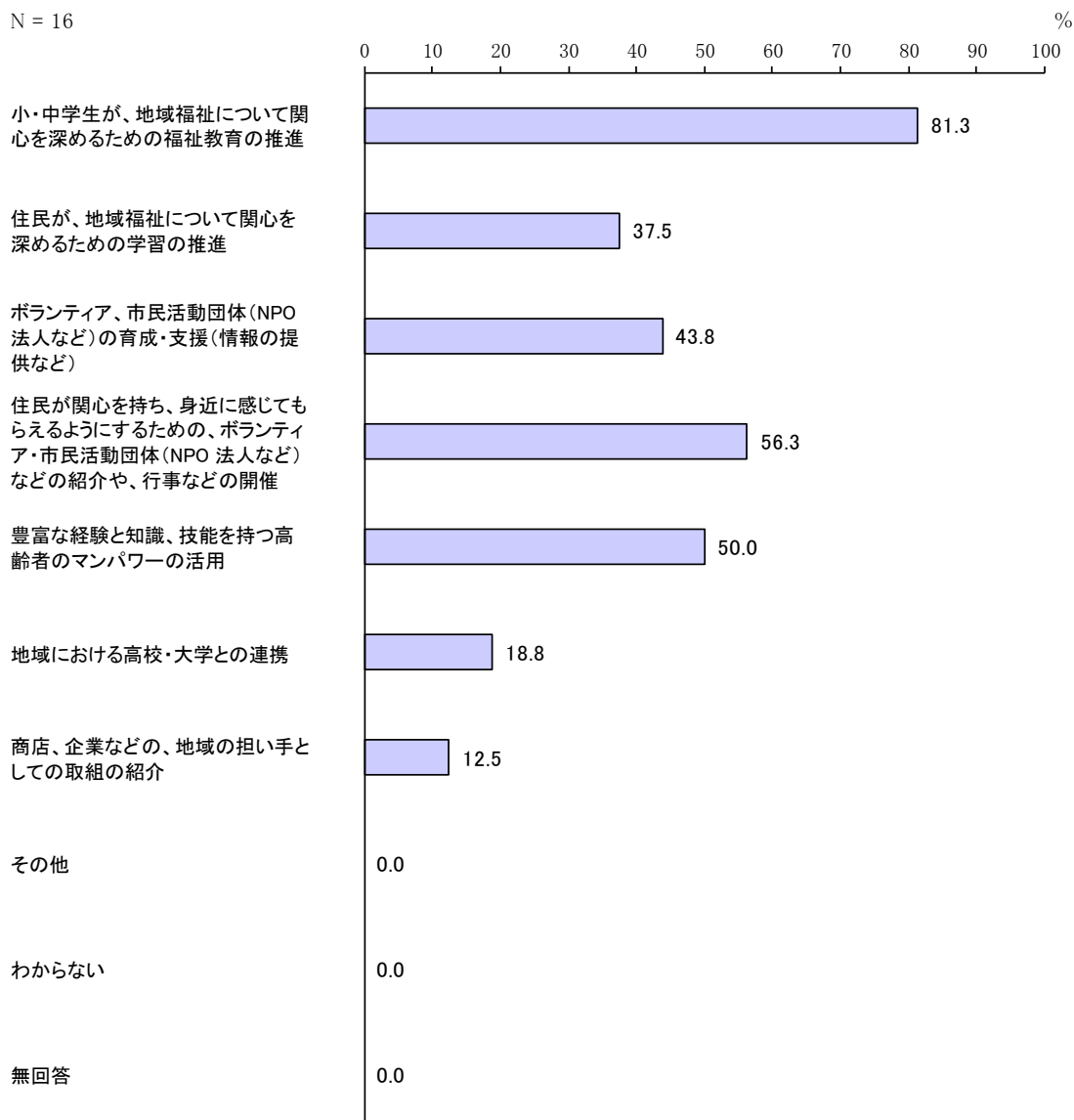
「隣近所での住民同士の日頃のつながりと助け合い」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「隣近所での避難場所や避難方法を話し合っ、決めておく」、「高齢者や障害者(児)などの支援を必要とする人たちへの支援体制の整備」の割合が 50.0%となっています。



(3) 今後の活動・業務などについて

問 12 地域課題に取り組むための地域の担い手を増やすには、どのようにしたらよいとお考えですか。(あてはまるすべてに○)

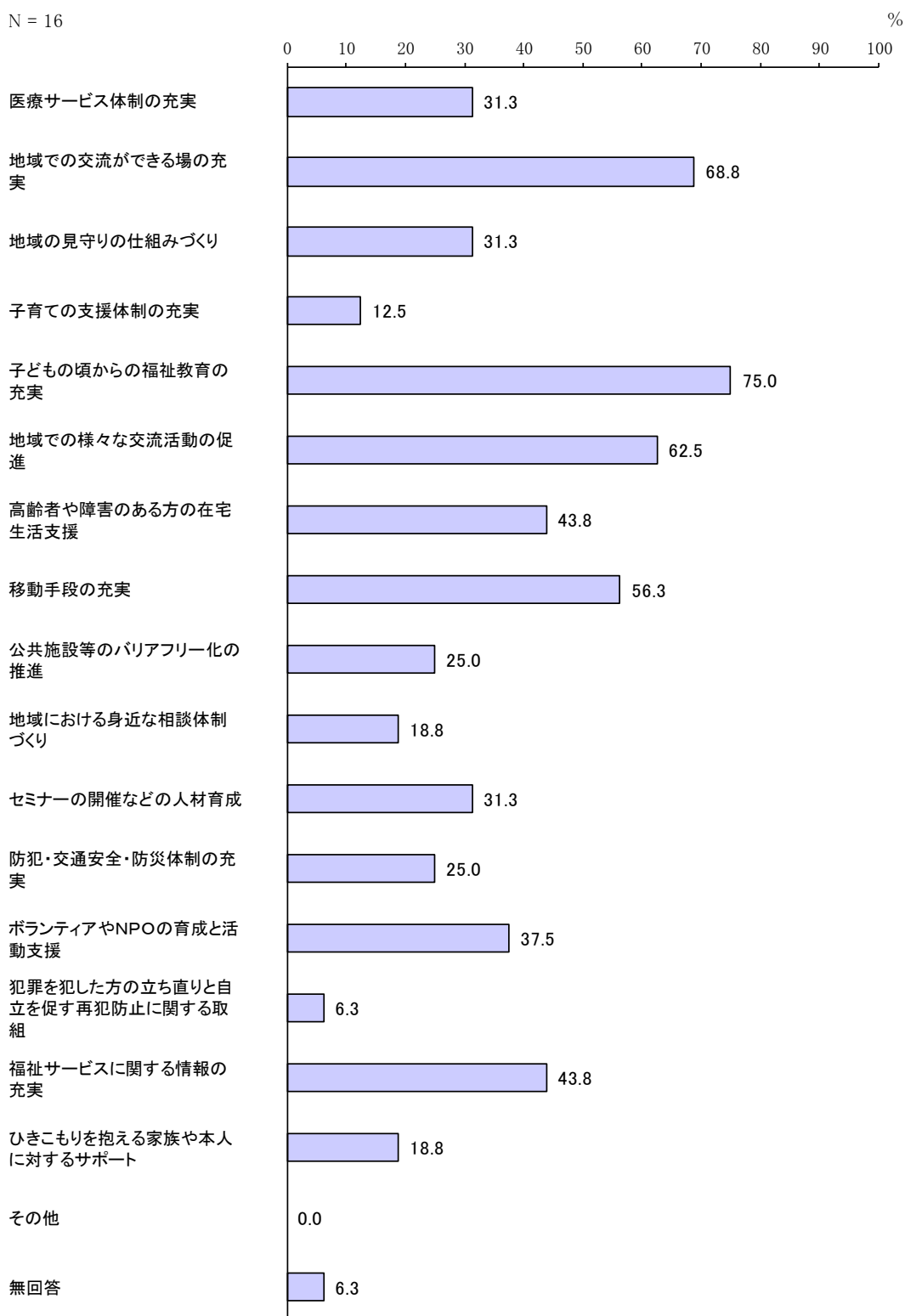
「小・中学生が、地域福祉について関心を深めるための福祉教育の推進」の割合が81.3%と最も高く、次いで「住民が関心を持ち、身近に感じてもらえるようにするための、ボランティア・市民活動団体(NPO 法人など)などの紹介や、行事などの開催」の割合が56.3%、「豊富な経験と知識、技能を持つ高齢者のマンパワーの活用」の割合が50.0%となっています。



(4) 市の地域福祉について

問 13 今後、地域福祉・施策を進めるために西脇市はどのような施策に取り組んでいくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの頃からの福祉教育の充実」の割合が75.0%と最も高く、次いで「地域での交流ができる場の充実」の割合が68.8%、「地域での様々な交流活動の促進」の割合が62.5%となっています。

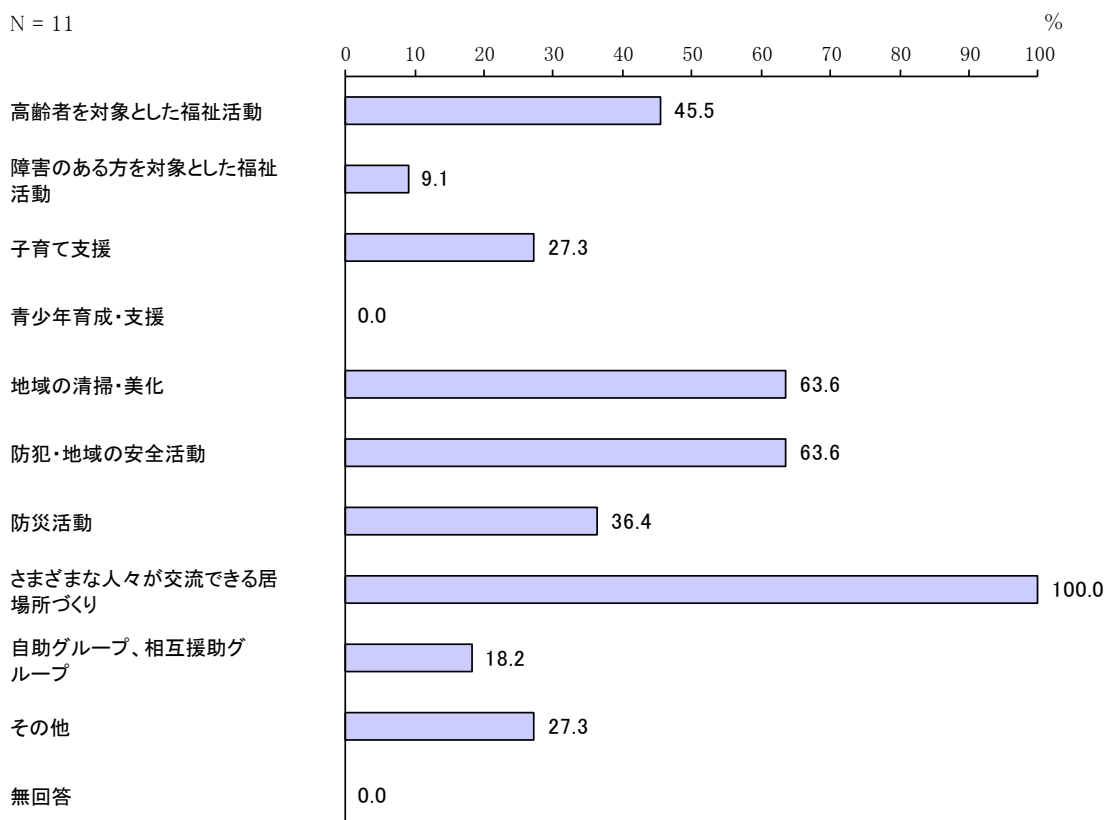


3 地域活動団体

(1) 日ごろの活動・業務について

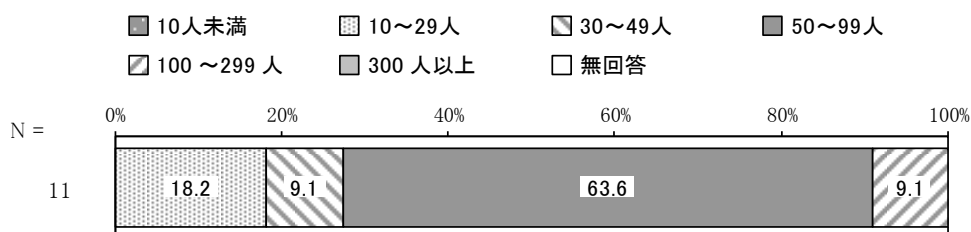
問1 貴団体は、どのような活動を行っていますか。(あてはまるすべてに○)

「さまざまな人々が交流できる居場所づくり」の割合が100.0%と最も高く、次いで「地域の清掃・美化」、「防犯・地域の安全活動」の割合が63.6%となっています。



問2 日頃活動を行っているメンバーは何人ですか。

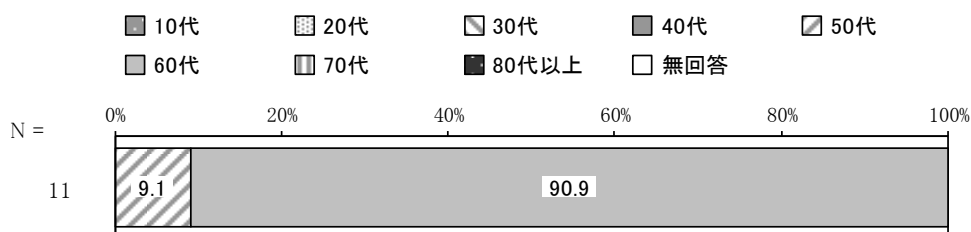
「50～99人」の割合が63.6%と最も高く、次いで「10～29人」の割合が18.2%、「30～49人」、「100～299人」の割合が9.1%となっています。



問3 日ごろ活動を行っているメンバーの年齢層は何歳代が中心ですか。「最も多い年代」と「次に多い年代」を次から選び、下の回答欄に数字を記入してください。

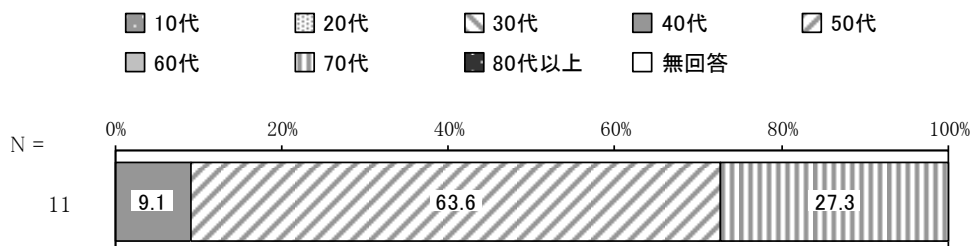
①最も多い年代

「60代」の割合が90.9%と最も高く、次いで「50代」の割合が9.1%、「10代」、「20代」の割合が0.0%となっています。



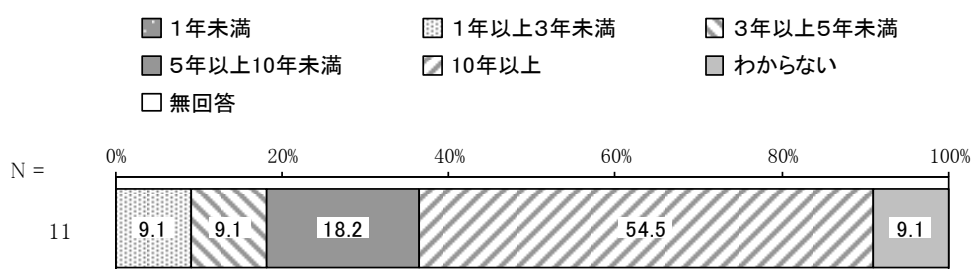
②次に多い年代

「50代」の割合が63.6%と最も高く、次いで「70代」の割合が27.3%、「40代」の割合が9.1%となっています。



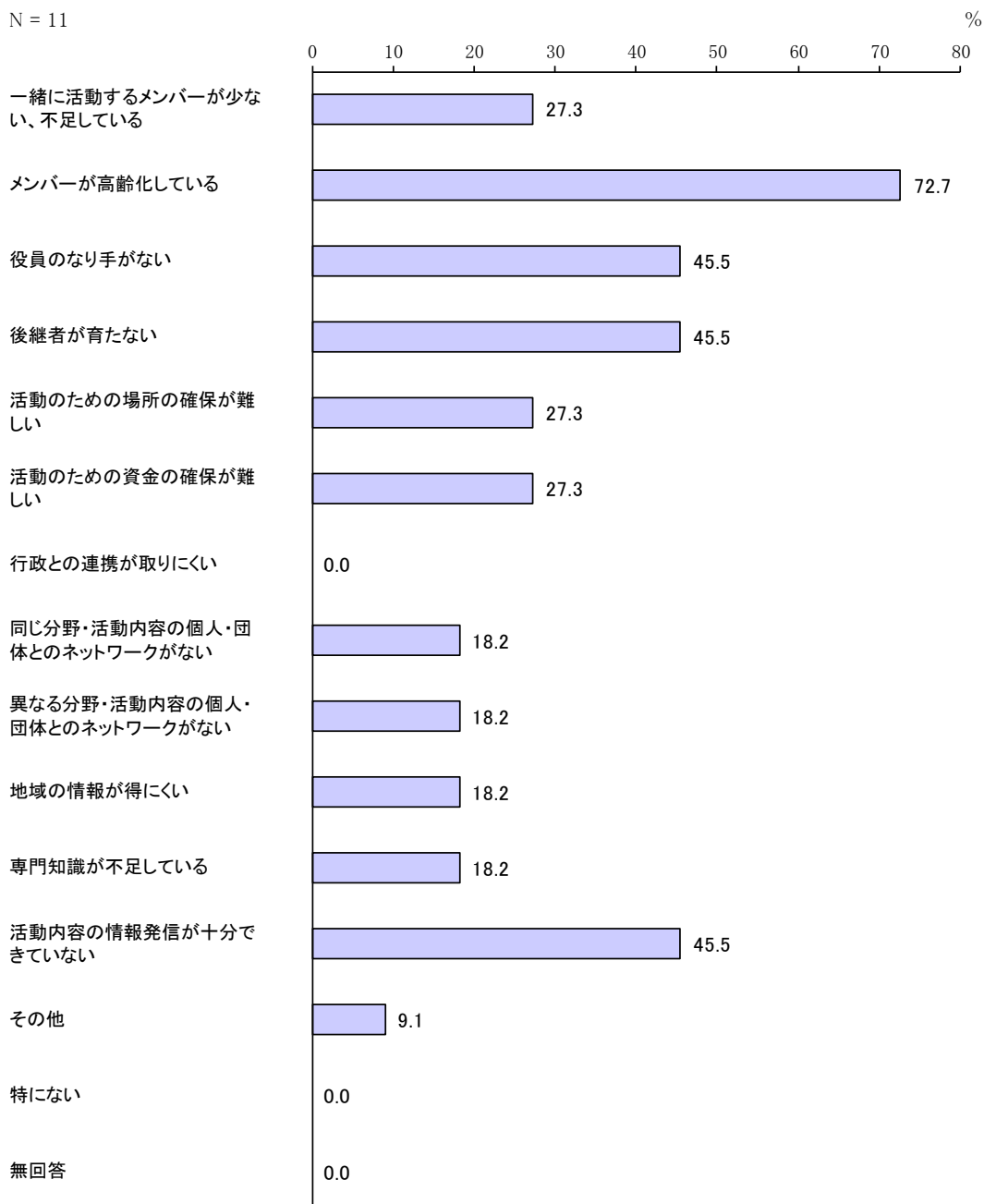
問4 貴団体は、活動を始めてからどれくらいになりますか。通算の年数でお答えください。(1つに○)

「10年以上」の割合が54.5%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」の割合が18.2%、「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」の割合が9.1%となっています。



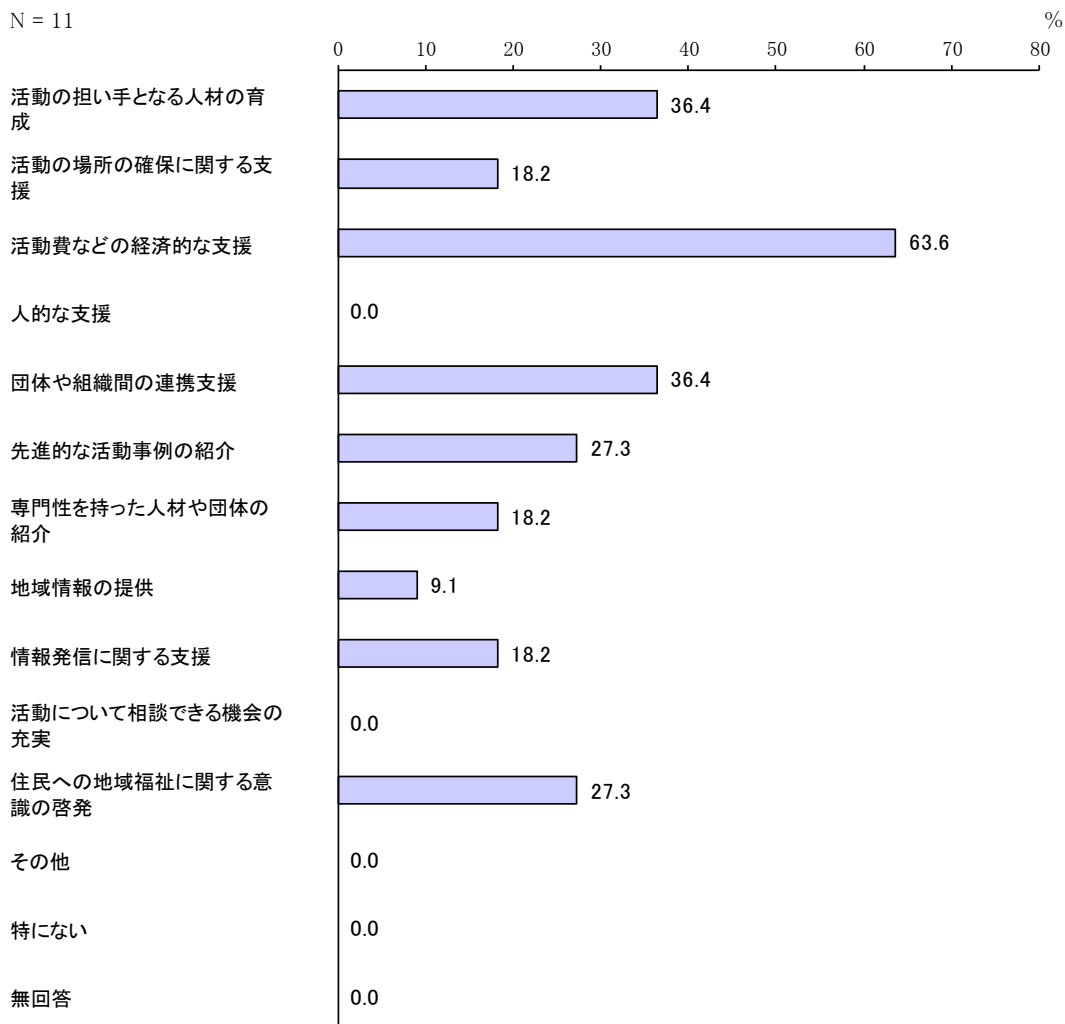
問5 貴団体が、活動を行う上で困っていることは、次のどれですか。
(あてはまるすべてに○)

「メンバーが高齢化している」の割合が72.7%と最も高く、次いで「役員のなり手がなく」、「後継者が育たない」、「活動内容の情報発信が十分できていない」の割合が45.5%となっています。



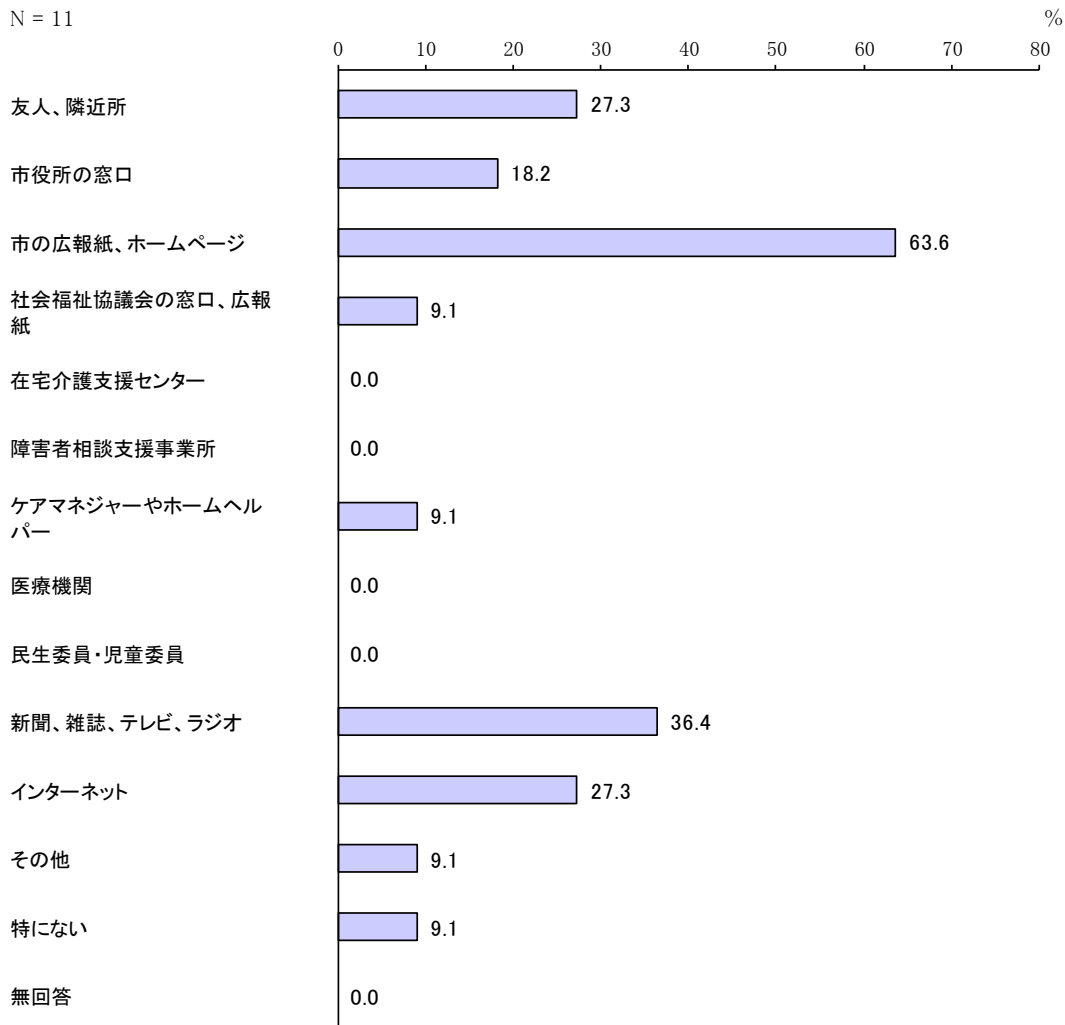
問6 地域活動を行う上で、行政にどのような支援を求めますか。
(あてはまるものに3つまで○)

「活動費などの経済的な支援」の割合が63.6%と最も高く、次いで「活動の担い手となる人材の育成」、「団体や組織間の連携支援」の割合が36.4%となっています。



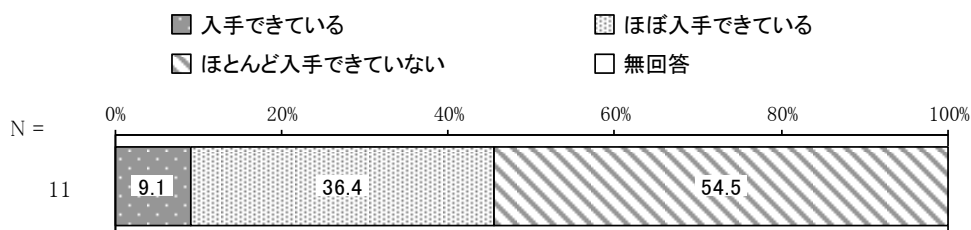
問7 貴団体は、日頃の活動において必要な情報をどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「市の広報紙、ホームページ」の割合が63.6%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」の割合が36.4%、「友人、隣近所」、「インターネット」の割合が27.3%となっています。



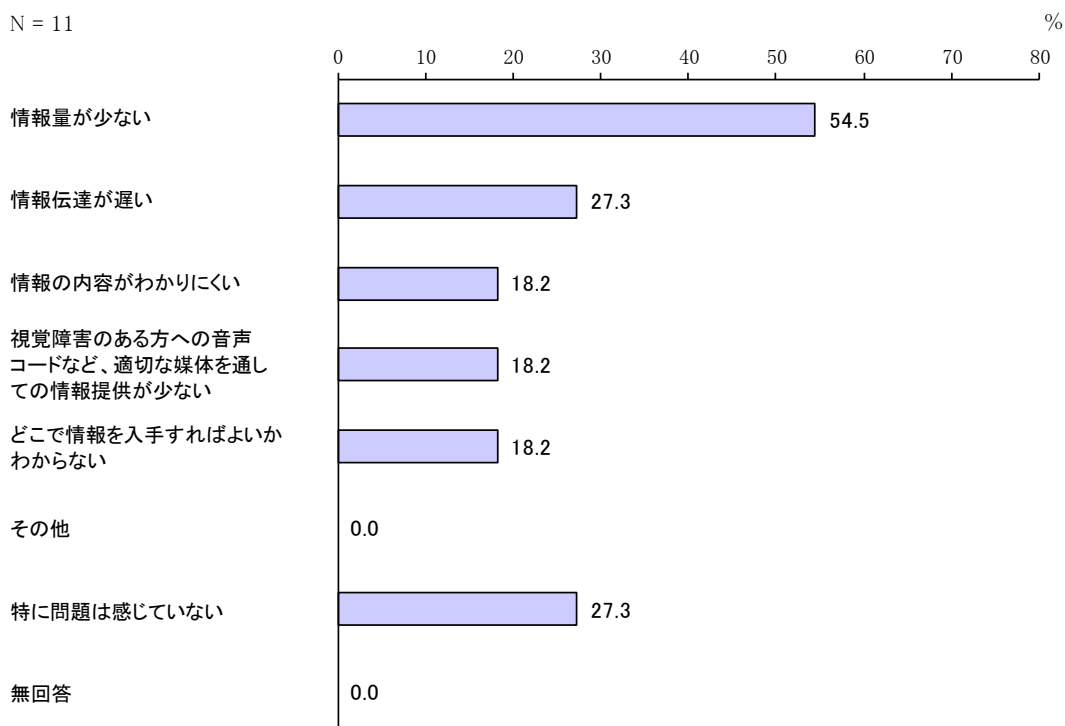
問8 貴団体は、市の子ども、高齢者、障害のある方などの福祉に関する情報を入手できていますか。(1つに○)

「ほとんど入手できていない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「ほぼ入手できている」の割合が36.4%、「入手できている」の割合が9.1%となっています。



問9 市からの情報の入手について、どのように感じていますか。(あてはまるすべてに○)

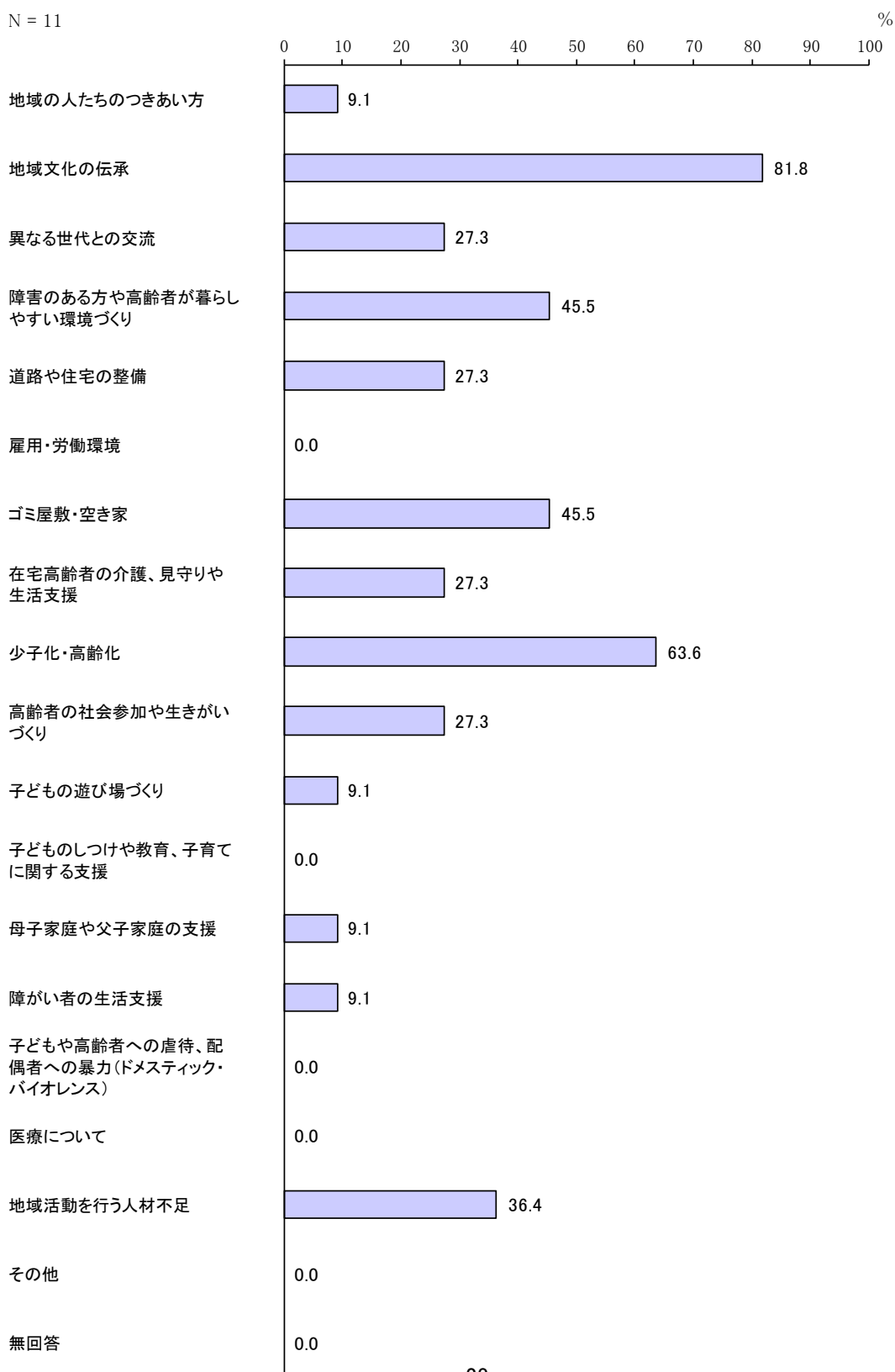
「情報量が少ない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「情報伝達が遅い」、「特に問題は感じていない」の割合が27.3%となっています。



(2) 地域の生活課題について

問10 ふだんの活動を通じて感じている地域の課題には、どのようなことがありますか。(あてはまるすべてに○)

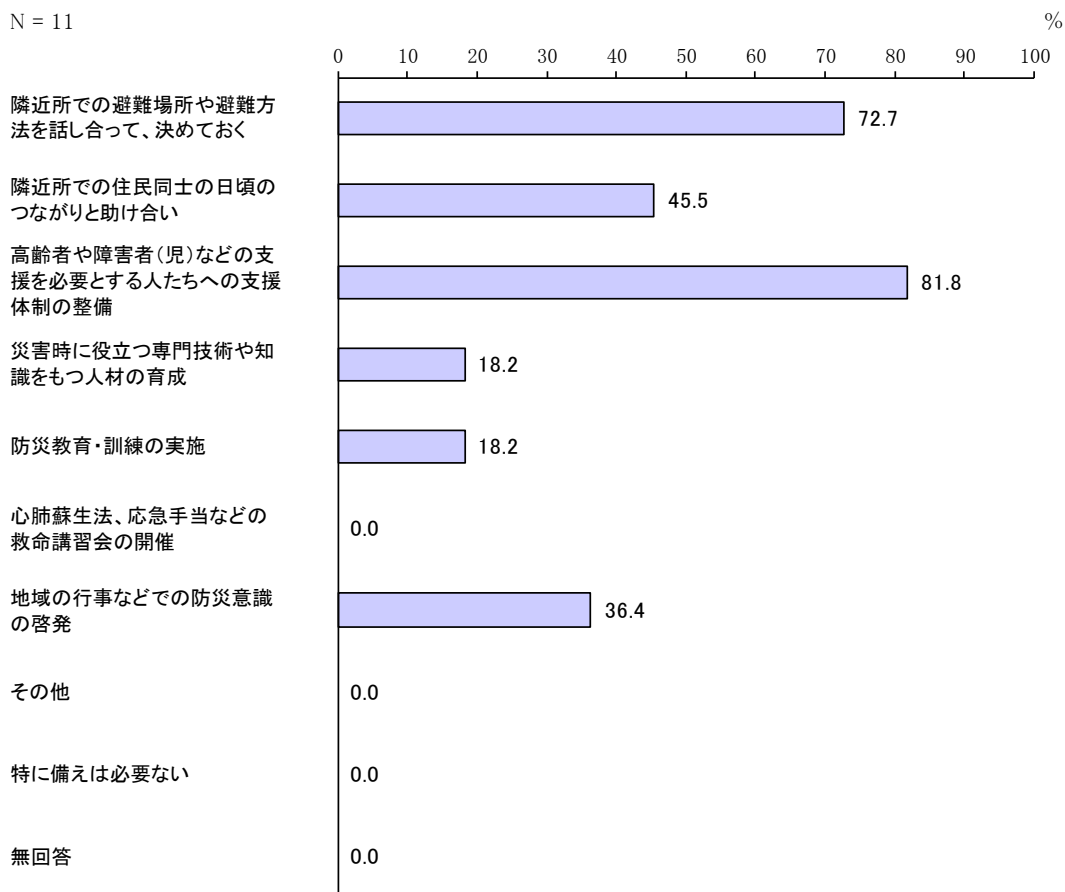
「地域文化の伝承」の割合が81.8%と最も高く、次いで「少子化・高齢化」の割合が63.6%、「障害のある方や高齢者が暮らしやすい環境づくり」、「ゴミ屋敷・空き家」の割合が45.5%となっています。



問 11 大地震などの災害に備えて、地域でどのような備えが必要だと思いますか。（防災用品の備えを除く。）（あてはまるもの3つまでに○）

「高齢者や障害者（児）などの支援を必要とする人たちへの支援体制の整備」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「隣近所での避難場所や避難方法を話し合っ、決めておく」の割合が 72.7%、「隣近所での住民同士の日頃のつながりと助け合い」の割合が 45.5%となっています。

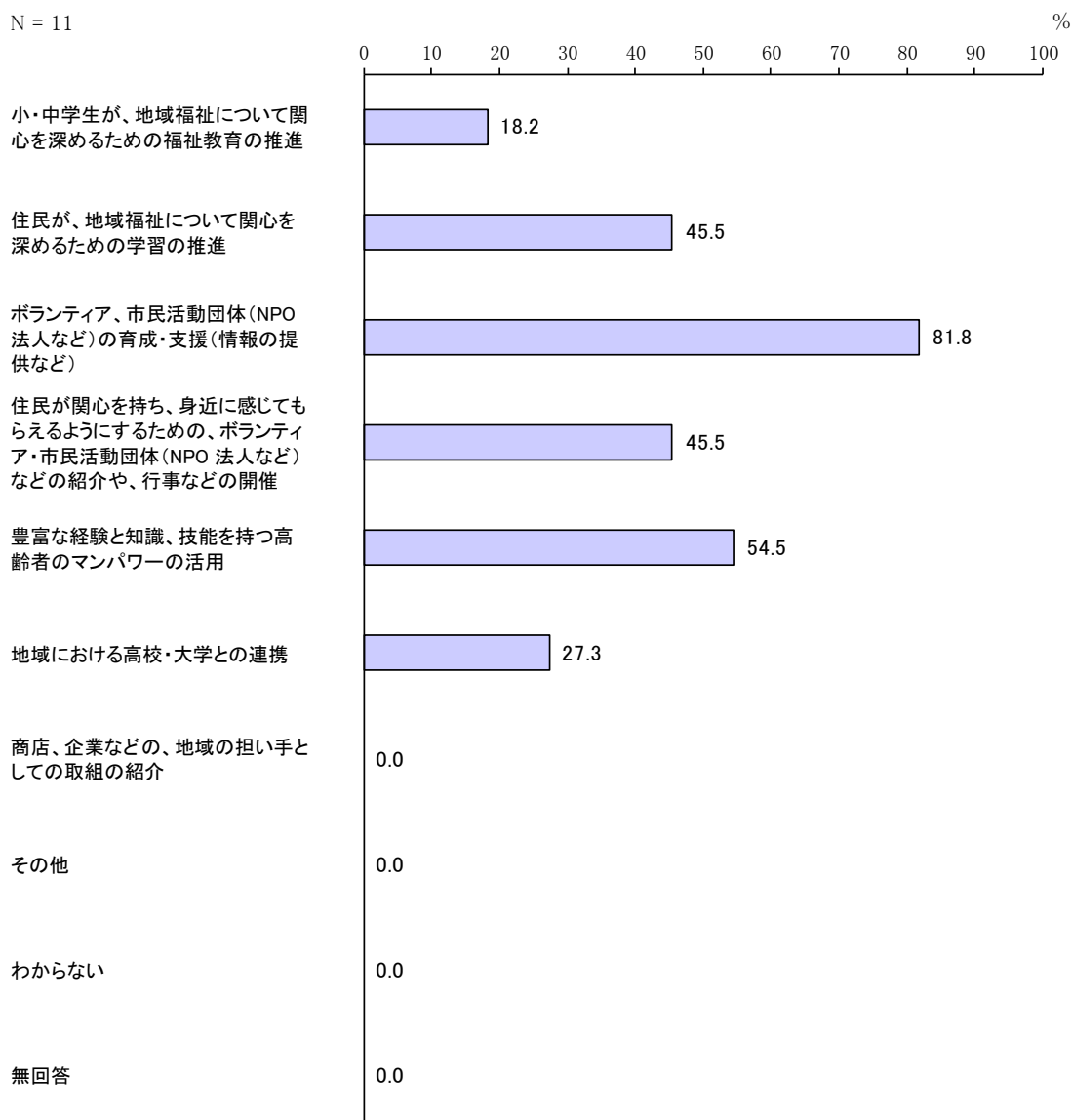
N = 11



(3) 今後の活動・業務などについて

問 12 地域課題に取り組むための地域の担い手を増やすには、どのようにしたらよいとお考えですか。(あてはまるすべてに○)

「ボランティア、市民活動団体（NPO 法人など）の育成・支援（情報の提供など）」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「豊富な経験と知識、技能を持つ高齢者のマンパワーの活用」の割合が 54.5%、「住民が、地域福祉について関心を深めるための学習の推進」、「住民が関心を持ち、身近に感じてもらうようにするための、ボランティア・市民活動団体（NPO 法人など）などの紹介や、行事などの開催」の割合が 45.5%となっています。



(4) 市の地域福祉について

問 13 今後、地域福祉・施策を進めるために西脇市はどのような施策に取り組んでいくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「地域での交流ができる場の充実」、「地域の見守りの仕組みづくり」、「子どもの頃からの福祉教育の充実」、「地域での様々な交流活動の促進」の割合が 45.5%と最も高くなっています。

